この本の使い方

Compaq Presario インターネット PC(以下、プレサリオまたはパソコンと記載します)をお買い求めいただきありがとうございます。この「プレサリオ ステップアップ」では、プレサリオの各機能について説明しています。

なお、ハードウェアの接続やWindowsのセットアップのしかたについては、別冊の「はじめようプレサリオ」をご覧ください。また、コンパックおすすめのプロバイダでインターネットに接続するには、別冊の「インターネットらくらくスタートガイド」をご覧ください。

本文中の記号について

この本では、次のような記号を使用しています。

ヒント　パソコンを使用する上で、役に立つヒントです。

重 要　パソコンを操作する上で重要な情報です。

注意　指示に従って操作しないと、装置の破損やデータの損失を招く恐れがあります。

警告　指示に従って操作しないと、怪我または生命に関わる危険を招く恐れがあります。

テクニカル サポートについて

詳しいテクニカル サポートが必要な場合は、Presarioのホームページにアクセスしてください。

http://www.compaq.co.jp/athome/presario/

また、製品に同梱されている「おまかせサービス＆サポート」もご覧ください。

プレサリオ ステップアップ　目次

■この本の使い方

1　パソコン各部の名前

●パソコン各部の名前 1-2
・本体前面 1-2
・本体背面 1-3
USB コネクタ 1-4
・パソコンのお手入れ方法 1-5

2　電源のオン／オフと省電力機能

●電源のオン／オフ 2-2
・電源ボタンと電源状態表示ランプ 2-2
電源ボタンの使い方 2-2
・電源をオフにする 2-3
Windows の「スタート」メニューで電源をオフにする 2-3
電源ボタンで電源をオフにする 2-4
・パソコンが動かないときは 2-7
ソフトが動かなくなったときは 2-7
パソコンがまったく反応しないときは 2-8
・停電などの場合 2-9
電源サージと瞬断 2-9
雷雨のとき 2-9

●省電力機能（スリープモードとシステム休止状態） 2-10
・Windows の電源の管理機能 2-10
電源の管理の設定 2-10
・スリープ モード 2-12
Windows からスリープ モードにする 2-12
電源ボタンでスリープ モードにする 2-13
インターネット キーボードでスリープ モードにする 2-15
スリープ モードを解除するには 2-15
・システム休止状態 2-16
Windows からシステム休止状態にする 2-16
電源ボタンでシステム休止状態にする 2-17
システム休止状態を解除するには 2-19

3　インターネットガイド

●インターネットのはじめ方 3-2
ここからはじめよう 3-2
プロバイダとの契約 3-3
オンライン サインアップ 3-3
・デスクトップ上のプロバイダアイコンからはじめる 3-4
・「コンパックおすすめプロバイダ」アイコンからはじめる 3-4
・すでにアカウントがある場合は 3-5
・インターネット接続Q&A 3-9

●インターネットエクスプローラの使い方 3-13

●電子メールの使い方 3-17
アドレス帳を使う 3-21

●ユーザー登録のしかた 3-24
「コンパック プレサリオ ユーザー登録センター」登録のしかた 3-24

4　プレサリオの便利な機能

●インターネット キーボードの使い方 4-2
・インターネット ボタンの使い方 4-2
・イージー アクセス ボタン 4-3
・そのほかのボタン 4-4
・キーの操作 4-5
・キーボード状態表示ランプ 4-8
・ボタンの設定を変更する 4-9
お気に入りのWebサイトを登録する 4-9
お気に入りのプログラムを登録する 4-12

●スクロール マウスの使い方 4-15
・マウスの基本操作 4-15
・スクロールとズーム 4-16
・スクロール マウスの設定を変更する 4-17

●CD／CD-RWドライブの使い方 4-18
手動でのディスク取り出し 4-19
・音楽CDの再生 4-20

●そのほかのドライブ 4-21
・ディスケット（フロッピー）ドライブ 4-21
・各種ドライブの見分け方 4-21
・ハードディスクの容量の確認 4-22

●デジタルダッシュボード 4-23
・デジタルダッシュボードの設定 4-23
インターネットから時刻を取り込む 4-24
電子メールをチェックする（E-mail ランプを使う） 4-25
ダイヤルアップの設定 4-27

5　Windowsの使い方

● Windows の使い方 5-2
・起動ディスクを作る 5-2
・ヘルプについて 5-4
・デスクトップの使い方 5-6
・ショートカットを作る 5-6
・アイコンを並べ替える 5-9
・背景を変える 5-10
・スクリーン セーバーを使う 5-11
・ファイルの整理 5-12
新しいフォルダを作る 5-12
ファイルを検索する 5-14
・ファイルやフォルダの削除 5-16
ごみ箱の使い方 5-16
・Windows アクセサリについて 5-18
アクセサリの起動のしかた 5-19
・アプリケーションの追加と削除 5-20
CD からのセットアップ 5-20
ダウンロードファイルのセットアップ 5-21
・新しいハードウェアを接続したとき 5-23
ドライバのセットアップ 5-23
・メンテナンス ウィザード 5-24

6　拡張カードと増設メモリ

●拡張カードと増設メモリの取り付け 6-2
・作業の準備 6-2
・カバーの取り外し／取り付け 6-3
カバーの取り外し 6-3
カバーの取り付け 6-5
・拡張カードの取り付け 6-5
拡張カードの挿入 6-5
・メモリの増設 6-7
増設メモリの取り付け 6-7

7　パソコンのメンテナンス

● Presario サポート 7-2
・Compaq Diagnostics 7-2
テストの実行のしかた 7-3
・System Record 7-5

●パソコンを出荷時の状態に戻す 7-6
・クイックリストア 7-6

8　困ったときは

●トラブルシューティング ガイド 8-2
役立つヒント 8-2
このガイドについて 8-2
・パソコンが動かない 8-3
・サウンド 8-3
・CD／CD-RW ドライブ 8-4
・ディスケット（フロッピー）ドライブ 8-4
・モニタ（ディスプレイ） 8-6
・キーボードとマウス 8-7
・電源 8-8
・Windows 8-8

9　各種規制への対応

●各種規制への対応 9-2
・電波障害自主規制について 9-2
・通信ネットワーク認定 9-2
・安全性 9-2
バッテリ 9-2

電源コード 9-3
レーザー アセンブリ 9-3
コンピュータの使用法 9-4
ドイツの人間工学に関する通達 9-4
モバイル製品 - ドイツの人間工学に関する通達 9-4
規定承諾ラベルの添付 9-5

10 プレサリオ用語集

●プレサリオ用語集 10-2

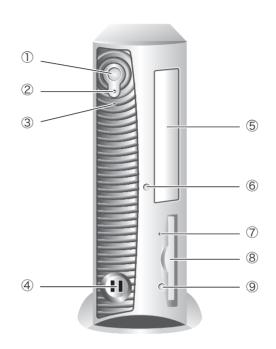
付録　修理とお問い合わせ先

●修理とお問い合わせ先 付録 -2
・お問い合わせになる前に 付録 -2
プレサリオサポートセンター 付録 -3
・プロバイダのお問い合わせ先 付録 -4

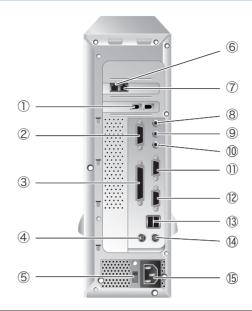
1 パソコン各部の名前

パソコン各部の名前

重 要 本文中の図は、実際のパソコン本体、モニタ、コネクタとは形状が多少異なることがあります。

本体前面

番号	名前
1	電源ボタン
2	電源状態表示ランプ
3	ハード ディスク ドライブ アクセス ランプ
4	USBコネクタ
5	CD／CD-RWドライブ(CD-RWは一部モデルのみ)
6	CD／CD-RWドライブ イジェクト ボタン
7	ディスケット ドライブ アクセス ランプ
8	ディスケット(フロッピー)ドライブ
9	ディスケット ドライブ イジェクト ボタン

重 要 付属のキーボードにあるスリープ ボタンは、パソコンをスリープモードにしたり、スリープ モードを解除したりするボタンです。スリープボタンでは、電源のオン／オフは行えません。

本体背面

番号	アイコン	名前
1		IEEE1394コネクタ*(一部モデルのみ)
2		ジョイスティックコネクタ
3		プリンタコネクタ(パラレルポート)
4		マウスコネクタ
5		電圧選択スイッチ
6		モデム ライン入力(ご使用のモデムとは異なる場合があります。)
7		モデム ライン出力
8		マイクコネクタ
9		オーディオ ライン入力コネクタ
10		オーディオ ライン出力コネクタ
11		アナログ モニタ コネクタ(D-sub15ピン)
12		シリアルコネクタ(シリアルポート)
13		USBコネクタ**
14		キーボードコネクタ**
15		AC電源コネクタ

* IEEE1394ポートに接続する機器の電源は、接続する機器の側で個別にとることをおすすめします。
** 添付のキーボードは、USBコネクタに接続します。

重 要 電圧選択スイッチは、出荷時の設定のまま(115V)でお使いください。

USBコネクタ

USBコネクタには、次のようにさまざまなUSB機器を接続できます。

・USB デジタルカメラ
・USB ゲームパッド
・USB ジョイスティック
・USB TA(ターミナルアダプタ)
・USB スキャナ
・そのほかのUSB機器

USB機器の接続手順、ソフトウェアやドライバのインストール手順については、各USB機器の取扱説明書をご覧になるか、各USB機器のメーカーにお問い合わせください。

パソコンのお手入れ方法

外側

パソコンの外側は、湿らせた布で汚れを拭き取ってください。

キーボード

キーボードの汚れは、清潔な柔らかい布で、表面を静かに拭いてください。

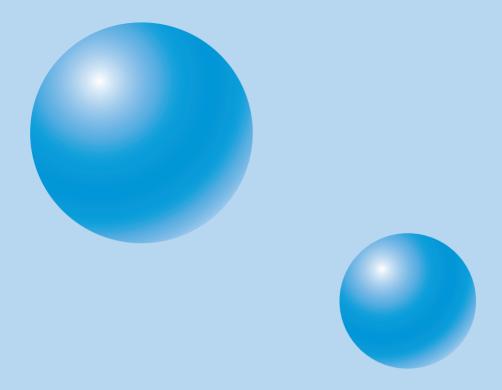
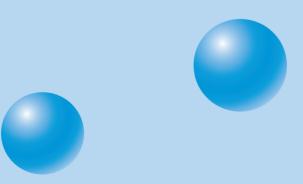
モニタ

モニタの清掃方法については、モニタの取扱説明書をご覧ください。

マウス

マウスを清掃する手順は、次のとおりです。

重 要　本文中の図は、実際のマウスとは形状が多少異なることがあります。

1. マウスの底にあるボールカバーを回して取り外します。
2. ボールを取り出します。
3. 糸くずが出ない湿らせた布を使ってボールを拭きます。ペーパータオルは使わないでください。
4. ボールを取り出した場所にたまっているごみや糸くずを取り除きます。
5. マウス内部の3カ所にあるローラーについたごみなどを取り除きます。
6. ボールを元の位置に取り付けます。
7. ボールカバーを元どおりに固定します。

2 電源のオン／オフと省電力機能

電源のオン／オフ

電源ボタンと電源状態表示ランプ

パソコンの電源をオンにするには、電源ボタン（⏻）を押します。
電源ボタンの下にある電源状態表示ランプは、パソコンの現在の電源状態を示します。

ヒント　の隣りにあるランプは、ハードディスクの読み書きをしているときに点灯するドライブ アクセス ランプです。

番号	名前
1	電源ボタン
2	電源状態表示ランプ

電源状態表示ランプの表示は、次のような意味です。

ランプ	パソコンの状態
緑に点灯	電源がオン（アクティブ）になっています。
オレンジに点灯	スリープ モードになっています。
消灯	電源がオフ、またはシステム休止状態になっています。

電源ボタンの使い方

電源ボタンを押すと、次の作業を行うことができます。

- パソコンの電源をオンにする
- パソコンをスリープ モードにする
- パソコンの電源をオフにする（あらかじめ設定が必要です）
- パソコンをシステム休止状態にする（あらかじめ設定が必要です）
- パソコンのスリープ モードを解除する
- パソコンのシステム休止状態を解除する
- 4秒以上押すと、パソコンの電源を完全にオフにする

ヒント　スリープ モード、システム休止状態については、この章の「省電力機能（スリープ モードとシステム休止状態）をご覧ください。

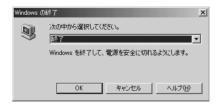
重 要 電源ボタンを4秒以上押すと、パソコンの電源が強制的にオフになります。この機能は、パソコンがハングアップ(ロック)して、この章の「ソフトが動かなくなったときは」の操作を行ってもまったく動かなくなってしまったときのみご使用ください。この機能ではファイルを保存できませんので、保存していない作業内容(作成中のワープロ文書など)は消えてしまいます。

電源をオフにする

大切なデータを保護するため、パソコンの電源をオフにする前に、作業中のすべてのファイルを保存し、すべてのプログラムを終了してください。
パソコンの電源をオフにする手順は、次のとおりです。

Windowsの「スタート」メニューで電源をオフにする

1 開いているすべてのファイルを保存した後、閉じます。
2 すべてのプログラムを終了します。
3 Windowsの画面の左下にある「スタート」をクリックします。
4 表示されるメニューから、「Windowsの終了」をクリックします。

次の画面が表示されます。

5 「終了」が表示されていることを確認します。
表示されていない場合は、右側にある▼をクリックして、表示される一覧から「終了」をクリックします。
6 「OK」をクリックします。

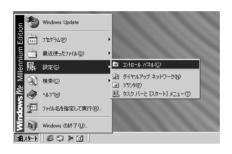
数秒後、電源状態表示ランプが消え、パソコンの電源がオフになったことを示します。
次に電源をオンにするときは、電源ボタンを押します。

重 要 電源をオフにしてから、次に電源をオンにするまでの間は、10秒以上の間隔をあけてください。

電源ボタンで電源をオフにする

[電源ボタンの設定]

1 Windowsの画面の左下にある「スタート」をクリックします。

2 表示されるメニューから、「設定」にポインタを合わせ、「コントロール パネル」をクリックします。

「コントロール パネル」の画面が表示されます。

3 （電源の管理）をダブルクリックします。

ヒント （電源の管理）が表示されていない場合は、よく使う機能だけが表示されている状態です。この場合は、画面の左側に青字で表示されている「すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

次のような画面が表示されます。

4 「詳細設定」をクリックします。

5 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の右側にある ▼ をクリックします。

6 表示されるメニューから「電源オフ」をクリックします。

7 「OK」をクリックします。

ヒント ここまでの手順は、次回からは行う必要はありません。

[電源ボタンを押す]

1 開いているすべてのファイルを保存した後、閉じます。

2 すべてのプログラムを終了します。

3 電源ボタンを押します。

重 要 電源ボタンを4秒以上押すと、パソコンの電源が強制的にオフになります。この機能は、パソコンがハングアップ(ロック)して、次のページの「ソフトが動かなくなったときは」の操作を行ってもまったく動かなくなってしまったときのみご使用ください。この機能ではファイルを保存できませんので、保存していない作業内容(作成中のワープロ文書など)は消えてしまいます。

数秒後、電源状態表示ランプが消え、パソコンの電源がオフになったことを示します。
次に電源をオンにするときは、電源ボタンを押します。

重 要 電源をオフにしてから、次に電源をオンにするまでの間は、10秒以上の間隔をあけてください。

使用中のファイルがある場合

開いたままになっているファイルがあると、電源がオフになる前に、作業内容を保存するようにメッセージが表示されます。

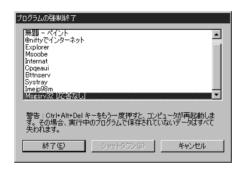
「はい」をクリックすると、下のような画面が表示されます。ファイルにつける名前を入力して「保存」をクリックします。
「いいえ」をクリックすると、作業内容を保存せずに電源がオフになります。この場合、作業中の内容は消えてしまいます。
「キャンセル」をクリックすると、電源はオフにならず、Windowsの画面に戻ります。

パソコンが動かないときは

ソフトが動かなくなったときは

Windowsやアプリケーションなどのソフトを使っているうちに動かなくなってしまうことを「ハングアップ」または「ロック」といいます。ソフトがハングアップしてしまったときは、次のようにしてください。

1 [Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら、[Delete]キーを押します。

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。

2 マウスで、「応答なし」と表示されているソフト名(プログラム名)をクリックします。または、[▲]または[▼]キーを押して、「応答なし」と表示されているプログラム名を選択します。

3 「終了」をクリックします。
または、[Enter]キーを押します。

プログラムの終了を確認するメッセージが表示されます。

4 マウスで、「終了」をクリックします。
または、[Enter]キーを押します。

ヒント この操作を行っても終了できないときは、[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[Delete]キーを何度か押して、Windowsを再起動してください。

重 要 作業中のデータは、こまめに保存するようにしてください。保存していなかった作業内容(ワープロで作成中の文書など)は、アプリケーションまたはWindowsがハングアップすると消えてしまう場合があります。

パソコンがまったく反応しないときは

マウスを動かしてもキーボードのキーを押しても、パソコンがまったく反応しなくなった場合は、次のようにしてください。

ヒント　この手順の前に、前のページの「ソフトが動かなくなったときは」の手順を試してみてください。

1 電源ボタンを4秒以上押し続けます。

パソコンの電源が強制的にオフになります。

2 10秒以上待ってから、もう一度電源ボタンを押します。

パソコンの電源がオンになります。

Windowsのユーティリティ プログラムである「スキャンディスク」が自動的に実行されます。スキャンディスクは、Windowsが正しく終了されなかったことが原因でハードディスクにエラーが発生していないかどうか確認します。エラーが検出されなければ、起動が続行されます。エラーが検出された場合は、画面の指示に従ってください。

重 要　この手順を行うと、Windowsの終了前に保存していない作業内容（作成中のワープロ文書など）は消えてしまいます。

停電などの場合

停電したり、誤って電源コードを抜いたりして電源が遮断されると、パソコンの電源は自動的に切れます。この場合、ファイルを保存できませんので、保存していない作業内容(作成中のワープロ文書など)は消えてしまいます。データを保護するために、作業内容はこまめに保存してください。

電源が遮断されてしまった場合、配電が復旧したことを確認するまでパソコンの電源はオフにしておいてください。

電源サージと瞬断

電源サージや瞬断が発生すると、ディスプレイと電源状態表示ランプが点滅し、パソコンが自動的に再起動することがあります。Windowsが正しく終了されなかった場合、再起動したときに、Windowsのユーティリティ プログラムであるスキャンディスクが自動的に実行されます。スキャンディスクは、Windowsが正しく終了されなかったことが原因でハードディスクにエラーが発生していないかどうか確認します。エラーが検出されなければ、再起動が続行されます。エラーが検出された場合は、画面の指示に従ってください。Windowsの終了前に保存していない作業内容(作成中のワープロ文書など)は消えてしまいます。
市販のサージ抑制装置、回線調節装置、無停電電源装置(UPS)を使用すると、電源サージや瞬断からパソコンを保護することができます。

雷雨のとき

お住まいの地域で雷雨が発生すると予想される場合は、パソコンの電源を切っておくことをおすすめします。モデムの配線を壁のモジュラージャックから抜き、パソコンや周辺機器のすべての電源コードをコンセントから抜いてください。

重 要 落雷によるパソコンの故障は、保証対象外です。

省電力機能（スリープモードとシステム休止状態）

Windowsの電源の管理機能

Windowsには電源の管理機能があり、プレサリオの消費電力を節約できます。電源の管理機能を使うと、一定の時間パソコンの操作を行わない場合、モニタやハード ディスクの電源を切るように設定することができます。

電源の管理の設定

1 Windowsの画面の左下にある「スタート」をクリックします。

2 表示されるメニューから、「設定」にポインタを合わせ、「コントロール パネル」をクリックします。

「コントロール パネル」の画面が表示されます。

3 （電源の管理）をダブルクリックします。

ヒント （電源の管理）が表示されていない場合は、よく使う機能だけが表示されている状態です。この場合は、画面の左側に青字で表示されている「すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

「電源の管理のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

この画面では、次の設定を行うことができます。

設定オプション	モニタの電源を切る	ハードディスクの電源を切る	システムスタンバイ(スリープ モード)	システム休止状態(ハイバネーション)
ホーム／オフィス デスク	15分後	30分後	20分後	1時間後
ポータブル／ラップトップ	15分後	30分後	20分後	30分後
常にオン	10分後	1時間後	なし	なし

4 「電源設定」の右側の ▼ をクリックして、表示されるメニューから「ホーム／オフィス デスク」「ポータブル／ラップトップ」または「常にオン」のどれかを選んでクリックします。

5 「OK」をクリックします。

ヒント 出荷時には、「ホーム／オフィス デスク」に設定されています。「システムスタンバイ」で設定されている時間、マウスやキーボードを操作しないと、パソコンはスリープ モードになります。スリープ モードのときは、キーボードのキーをどれか押すと、アクティブな状態に戻ります。

ヒント パソコンがスリープ モードになってから、「システム休止状態」で設定されている時間がたつと、パソコンはシステム休止状態になります。システム休止状態のときは、電源ボタンを押すと、アクティブな状態に戻ります。

電源設定のオプションがあなたの作業スタイルに合っていない場合は、電源設定を個別に行うことができます。たとえば、「ホーム／オフィス デスク」を選んだ場合なら、画面の下側の「ホーム／オフィス デスクの設定」で、「モニタの電源を切る」「ハードディスクの電源を切る」「システムスタンバイ」「システム休止状態」の時間をそれぞれ個別に設定できます。各項目の右側にある ▼ をクリックして、表示されるメニューから時間を選んでクリックしてください。
また、「名前を付けて保存」をクリックして、名前を入力すると、個別の設定に名前を付けて保存することができます。

スリープ モード

スリープ モードとは、パソコンを使っていないときの消費電力を節約する、低電力のスタンバイ状態のことです。あらかじめ設定した時間が経過すると、Windowsの電源の管理機能によって、自動的にスリープ モードになります。また、Windowsの「スタート」メニューや、電源ボタンなどを使って、すぐにスリープ モードにすることもできます。

重要 パソコンをスリープ モードにする前に、すべてのデータを必ず保存してください。スリープ モード中に、パソコンの電源をオフにしたり、電力が遮断されたりすると、保存していない作業内容（作成中のワープロ文書など）は消えてしまいます。

Windowsからスリープ モードにする

Windowsの「スタート」メニューでパソコンをスリープ モードにするには、次のようにします。

1 開いているすべてのファイルを保存した後、閉じます。
2 すべてのプログラムを終了します。
3 Windowsの画面の左下にある「スタート」をクリックします。
4 表示されるメニューから、「Windowsの終了」をクリックします。

「Windowsの終了」の画面が表示されます。

5 「次の中から選択してください。」の右側にある ▼ をクリックします。
6 表示される一覧から「スタンバイ」をクリックします。

7 「OK」をクリックします。

数秒後、電源状態表示ランプがオレンジ色に変わり、パソコンがスリープ モードになったことを示します。

電源ボタンでスリープ モードにする

[電源ボタンの設定]

1 Windowsの画面の左下にある「スタート」をクリックします。

2 表示されるメニューから、「設定」にポインタを合わせ、「コントロール パネル」をクリックします。

「コントロール パネル」の画面が表示されます。

3 (電源の管理)をダブルクリックします。

ヒント (電源の管理)が表示されていない場合は、よく使う機能だけが表示されている状態です。この場合は、画面の左側に青字で表示されている「すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

次のような画面が表示されます。

4 「詳細設定」をクリックします。

5 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の右側にある ▼ をクリックします。

6 表示されるメニューから「スタンバイ」をクリックします。

7 「OK」をクリックします。

ヒント ここまでの手順は、購入時の状態のままお使いの場合は必要ありません。また、一度設定を行えば、次回からは行う必要はありません。

[電源ボタンを押す]

1 開いているすべてのファイルを保存した後、閉じます。

2 すべてのプログラムを終了します。

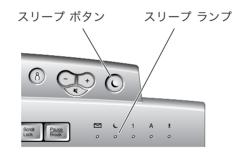
3 電源ボタンを押します。

重 要 電源ボタンを4秒以上押すと、パソコンの電源が強制的にオフになります。この機能は、パソコンがハングアップ(ロック)して、この章の「ソフトが動かなくなったときは」の操作を行ってもまったく動かなくなってしまったときのみご使用ください。この機能ではファイルを保存できませんので、保存していない作業内容(作成中のワープロ文書など)は消えてしまいます。

数秒後、電源状態表示ランプがオレンジ色に変わり、パソコンがスリープ モードになったことを示します。

インターネット キーボードでスリープ モードにする

インターネット キーボードにあるスリープ ボタンを押すことで、パソコンをスリープ モードにできます。スリープ モードになると、インターネット キーボードのスリープ ランプが点灯します。

重 要 インターネット キーボードにあるスリープ ボタンは、パソコンをスリープ モードにするときに使います。このボタンを押しても、パソコンの電源をオンまたはオフにすることはできません。

スリープ モードを解除するには

スリープ モードを解除するには、次のような方法があります。

・本体前面にある電源ボタンを押す
・インターネット キーボードにあるスリープ ボタンを押す
・マウスを少し動かす

電源状態表示ランプが緑に変わり、パソコンがアクティブになったことを示します。

システム休止状態

システム休止状態とは、パソコンを使用中の状態をハードディスクに保存してから、電源をオフにする機能です。次にパソコンを使うときには、前回の作業の続きからはじめることができます。パソコンがスリープ モードになってから、あらかじめ設定した時間キーボードやマウスの操作をしないでいると、Windowsの電源の管理機能によって、自動的にシステム休止状態になります。また、Windowsの「スタート」メニューや、電源ボタンなどを使って、すぐにシステム休止状態にすることもできます。

ヒント システム休止状態のことを、ハイバネーションまたはハイバネーション モードということもあります。

Windowsからシステム休止状態にする

Windowsの「スタート」メニューでパソコンをシステム休止状態にするには、次のようにします。

1 Windowsの画面の左下にある「スタート」をクリックします。

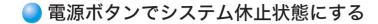
2 表示されるメニューから、「Windowsの終了」をクリックします。

「Windowsの終了」の画面が表示されます。

3 「次の中から選択してください。」の右側にある ▼ をクリックします。

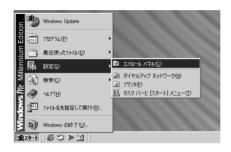
4 表示される一覧から「休止状態」をクリックします。

5 「OK」をクリックします。

パソコンを使用中の状態がハードディスクに保存された後、電源状態表示ランプが消え、パソコンの電源がオフ（システム休止状態）になったことを示します。

電源ボタンでシステム休止状態にする

[電源ボタンの設定]

1 Windowsの画面の左下にある「スタート」をクリックします。

2 表示されるメニューから、「設定」にポインタを合わせ、「コントロール パネル」をクリックします。

「コントロール パネル」の画面が表示されます。

3 (電源の管理)をダブルクリックします。

ヒント (電源の管理)が表示されていない場合は、よく使う機能だけが表示されている状態です。この場合は、画面の左側に青字で表示されている「すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

次のような画面が表示されます。

4 「詳細設定」をクリックします。

5 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の右側にある ▼ をクリックします。

6 表示されるメニューから「休止状態」をクリックします。

7 「OK」をクリックします。

ヒント ここまでの手順は、次回からは行う必要はありません。

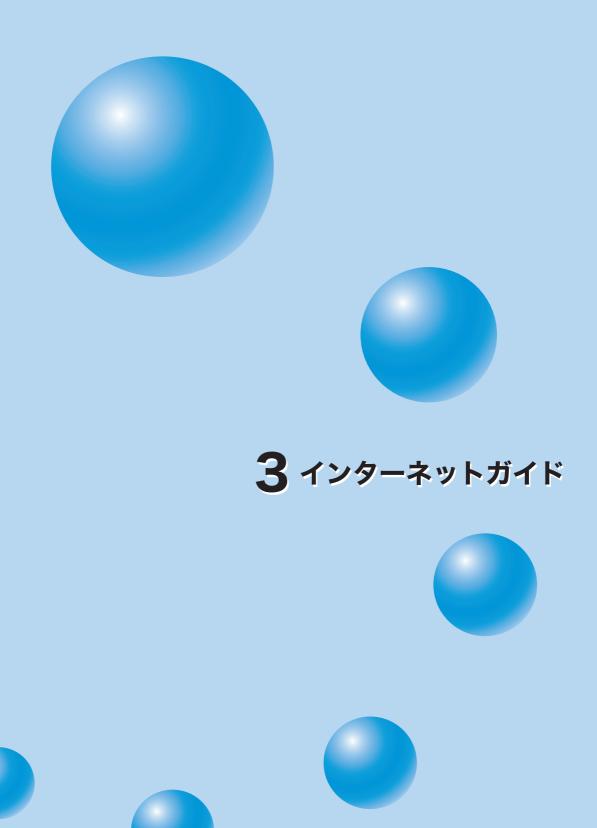
[電源ボタンを押す]

1 電源ボタンを押します。

重 要　電源ボタンを4秒以上押すと、パソコンの電源が強制的にオフになります。この機能は、パソコンがハングアップ(ロック)して、この章の「ソフトが動かなくなったときは」の操作を行ってもまったく動かなくなってしまったときのみご使用ください。この機能ではファイルを保存できませんので、保存していない作業内容(作成中のワープロ文書など)は消えてしまいます。

パソコンを使用中の状態がハードディスクに保存された後、電源状態表示ランプが消え、パソコンの電源がオフ(システム休止状態)になったことを示します。

システム休止状態を解除するには

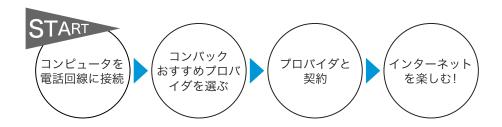
システム休止状態を解除するには、電源ボタンを押します。電源状態表示ランプが緑に点灯し、パソコンがアクティブになったことを示します。

3 インターネットガイド

インターネットのはじめ方

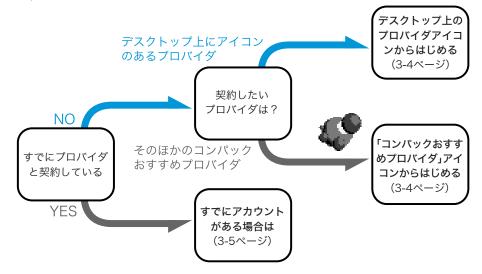
ヒント コンパックがおすすめするプロバイダへの入会のしかたは、別冊の「インターネットらくらくスタートガイド」に詳しく説明されています。

重 要 「インターネットガイド」の説明は、コンピュータを電話回線に接続してからお読みください。接続の方法は、別冊の「はじめようプレサリオ」をご覧ください。

ここからはじめよう

さあ、インターネットをはじめましょう。プレサリオには、コンパックおすすめのプロバイダ(インターネット接続業者)に接続するためのソフトがいくつも用意されています。これを使えば接続は簡単。気軽にインターネットをはじめることができます。

プレサリオでインターネットを楽しむには、次の2とおりのやり方があります。

- ・デスクトップ上のプロバイダアイコンからはじめる
- ・「コンパックおすすめプロバイダ」アイコンからはじめる

新たにプロバイダに加入される方は、この2とおりのうちのどちらかで加入されることをおすすめします。また、すでにプロバイダのアカウントをお持ちの方は、そのアカウントで使えるようにプレサリオを設定する必要があります。次の図をご覧になり、ご自分に合ったページへお進みください。

プロバイダとの契約

一般家庭用の電話回線を使用してインターネットに接続するには、プロバイダというインターネット接続業者との契約(アカウントともいいます)が必要です。プレサリオには、プロバイダとの契約を簡単に行うためのソフトが数多く用意されています。どんな風にインターネットを使いたいかを考えて、サービス内容や料金体系など、目的に合ったプロバイダをお選びください。

ヒント プロバイダのことを、ISP(インターネット サービス プロバイダ)ということもあります。

オンライン サインアップ

パソコン上で、接続用のソフトと電話回線を使ってプロバイダとの契約を行うことを「オンライン サインアップ」などといいます。オンライン サインアップの操作中は、電話料金がかかる場合があります。また、ほとんどのプロバイダでは、オンライン サインアップを行うにはクレジットカードが必要です。
オンライン サインアップでは、名前や住所を日本語で入力する必要があります。日本語入力に慣れていない方は、ワープロソフトなどで練習してから操作を行うことをおすすめします。

ヒント プロバイダと契約するには、パソコンを使ったオンライン サインアップのほかに、郵送などで申し込む方法もあります。詳しくは、各プロバイダにお問い合わせください。

[用意するもの]

●クレジットカード
利用できるカードはプロバイダによって異なります。

●筆記用具
画面の内容を書きとめる必要があります。

[調べること]

●電話回線は接続されていますか?

●回線の種類は?
「ダイヤル回線」「プッシュ回線」「ISDN」のどれですか?

∘ダイヤル回線
∘プッシュ回線
∘ISDN

デスクトップ上のプロバイダアイコンからはじめる

Windowsの画面全体を「デスクトップ」といいます。Windowsのセットアップが終わると、デスクトップ上にはさまざまなアイコン(絵文字)が表示されます。この中に、コンパックがおすすめするプロバイダに接続して、契約を行うためのアイコンがあります。詳しくは、別冊の「インターネットらくらくスタートガイド」をご覧ください。

「コンパックおすすめプロバイダ」アイコンからはじめる

Windowsのデスクトップ上にある をダブルクリックすると、コンパックがおすすめするプロバイダの中から選んで、契約を行うことができます。
設定が終わると、キーボードの「インターネット」ボタンを押したときにインターネットエクスプローラ(インターネット上のWebページを見るためのソフト)が起動するようになります。

重 要 すでにプロバイダのアカウントをお持ちの方は「すでにアカウントがある場合は」をご覧ください(3-5ページへ)。ほかの方法ではじめると、二重に契約してしまう場合があります。

1 画面の左の方にある (コンパックおすすめプロバイダ)をダブルクリックします。

ヒント ダブルクリックとは、マウスのボタン(ふつうは左ボタン)をカチカチッと続けて2回押すことです。

ヒント ここからは、「マウスを動かして○○にポインタを合わせてダブルクリックする」ことを、「○○をダブルクリックする」というように説明します。

次のような「コンパックおすすめプロバイダ」の画面が表示されます。

2 契約したいプロバイダを選んで、アイコンをダブルクリックします。

各プロバイダの紹介や入会申込の画面が表示されます。このあとは、画面の指示にしたがって操作してください。

すでにアカウントがある場合は

すでにプロバイダと契約していて、ユーザー名を持っている場合は、次のように設定してください。

ヒント このあとの手順で必要になる「アクセスポイント」や「ユーザー名」などの設定情報は、プロバイダとの契約時に送られてきた書類等をご覧になるか、各プロバイダにお問い合わせください。

1 画面の左の方にある (コンパックおすすめプロバイダ)をダブルクリックします。

ヒント ダブルクリックとは、マウスのボタン(ふつうは左ボタン)をカチカチッと続けて2回押すことです。

ヒント ここからは、「マウスを動かして○○にポインタを合わせてダブルクリックする」ことを、「○○をダブルクリックする」というように説明します。

次のような「コンパックおすすめプロバイダ」の画面が表示されます。

2 (インターネット接続手動設定)をダブルクリックします。

次のような画面が表示されます。

3 「電話回線を使用して接続する」をクリックして にします。

4 「次へ」をクリックします。

次のような画面が表示されます。

5 プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力します。

6 「国名／地域名と国番号」の覧に「日本(81)」と表示されていることを確認します。「日本(81)」になっていない場合は、右側の をクリックして、表示される一覧から「日本(81)」を選んでクリックします。

7 「次へ」をクリックします。

次のような画面が表示されます。

8 プロバイダに登録してあるユーザー名とパスワードを入力します。

9 「次へ」をクリックします。

次のような画面が表示されます。

10 ここまでの設定に名前をつけます。名前を入力して「次へ」をクリックします。

メールの設定をする画面が表示されます。

11 メールの設定をする場合は「はい」をクリックして ◉ にしてから、「次へ」をクリックします。

手順11で「はい」を選んだ場合は、画面の指示にしたがって、メールアドレスやメールサーバーの設定を行ってください。必要な設定情報は、プロバイダとの契約時に送られてきた書類等をご覧になるか、各プロバイダにお問い合わせください。
手順11で「いいえ」を選んだ場合や、メールの設定が終わったあとには、次のような画面が表示されます。

12 「完了」をクリックします。

これでプロバイダの設定は終わりです。このあとは、インターネットエクスプローラなどを使って、インターネットを楽しむことができます。また、キーボードの「インターネット」ボタンを押すと、インターネットエクスプローラが起動して、Webサイトに接続できます。

インターネット接続Q&A

インターネット接続についてのQ&Aをまとめました。インターネットにうまく接続できないときは、次の内容をチェックしてみてください。また、プロバイダとの契約時に送られてきた説明書等もご覧ください。

Q ダイヤルアップ接続時、再ダイヤルが繰り返されると、「モデムを検出できませんでした。モデムは使用中かオフにされているか、またはインストールされていません」というメッセージが表示され、モデムが使用できなくなります。

A モデムで再ダイヤルを行う場合、JATE(電気通信端末機器審査協会)で決められている規制によって、同じ番号へは最初の呼び出しから2回までしか再ダイヤルできないようになっています。2分間待つと再ダイヤルできるようになります。

Q ダイヤルアップ接続で「ユーザー名とパスワードを確認しています」と表示されてから、実際に接続されるまでの時間が、ほかのパソコンにくらべて長い(1分程度)のですが。

A ダイヤルアップ接続の設定で余分な設定がある可能性があります。次のように確認してみてください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントして、「コントロールパネル」をクリックします。
2. (ダイヤルアップネットワーク)をダブルクリックします。
3. 使用している接続のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
4. 「ネットワーク」タブをクリックします。

5. 「詳細オプション」の「ソフトウェア圧縮をする」以外が☑になっていたら、クリックして☐にします。
6. 「使用できるネットワーク プロトコル」の「TCP/IP」以外が☑になっていたら、クリックして☐にします。
7. 「OK」をクリックします。
8. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントして、「コントロールパネル」をクリックします。

9 コントロールパネルの(ネットワーク)をダブルクリックします。

(ネットワーク)が表示されていない場合は、画面の左側に青字で表示されている「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると表示されます。

10「現在のネットワーク コンポーネント」の欄に、「Microsoft ネットワーク クライアント」があるかどうか確認します。ある場合はそのまま「OK」をクリックします。

11「Microsoft ネットワーク クライアント」がない場合は、「追加」をクリックします。

12「クライアント」をクリックしてから、「追加」をクリックします。

13 左側の「Microsoft」をクリックしてから、右側の「Microsoft ネットワーク クライアント」をクリックします。

14「OK」をクリックします。

15「ネットワーク」の画面に戻るので、「OK」をクリックします。

16 パソコンを再起動します。

Q モデムが通信しているときの「ピー、ガー」という音を消したいのですが。

A 次のように設定してください。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントして、「コントロールパネル」をクリックします。

2 (ダイヤルアップネットワーク)をダブルクリックします。

3 使用している接続のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

4 「設定」をクリックします。

5 「音量」の欄の をドラッグして「オフ」にします。

6 「OK」をクリックします。

7 接続の画面に戻るので、「OK」をクリックします。

ヒント コントロールパネルの (モデム)をダブルクリックして設定しても、変更は反映されません。

Q インターネットに接続しているのに、タスクトレイに が表示されません。

A AOLなどの特殊な接続プログラムを使用している場合は、 は表示されません。

Q インターネットボタンにAOLを割り当てたいのですが。

A AOLをボタンで起動したい場合は、ユーザーボタン( )に割り当ててください。そのほかのボタンでは起動できません。ボタンの割り当てについては「4 プレサリオの便利な機能」の「インターネット キーボードの使い方」をご覧ください。

モデムの接続速度が本来の速度よりも極端に遅いのですが。

A 電話回線の状態が影響している可能性がありますので、次の点を確認してください。

- ・モデムの「PHONE」に電話機などを接続している場合は外す
- ・モデムを接続している電話回線から分岐して、ほかの電話機などに接続されている場合は外す（ほかの部屋にあるものも含む）
- ・新電電のアダプタなどが接続されている場合は外す

以上3点は、簡単にいうと「その電話回線上にモデムしか接続されていない状態にする」ということです。これで解決する場合は、「PHONE」に接続されている機器との不整合の可能性がありますので、内部に半導体の入った電話切替器（市販品）をお試しください。また、次の点も確認してみてください。

- ・モデムと壁のモジュラージャックを接続している電話線（モジュラーケーブル）を短いものと交換する
- ・モデムを接続している電話回線で、普通の電話を使用した際に雑音が多くないかどうか確認する
- ・プロバイダのアクセスポイントを変えてみる
- ・インターネットにアクセスする時間帯を変えてみる
- ・パソコンの置き場所を変えてみる（近くにある冷蔵庫やエアコンなどのノイズが影響している可能性があります）

インターネットエクスプローラの使い方

プロバイダとの契約が終わると、インターネットエクスプローラ(Internet Explorer)などのWebブラウザを使って、インターネットに接続することができるようになります。ここでは、インターネットエクスプローラの簡単な使い方を説明します。詳しくは、インターネットエクスプローラのヘルプをご覧ください。

ヒント インターネットエクスプローラ以外のWebブラウザを使う場合は、Webブラウザに添付されているマニュアルなどをご覧の上、必要な設定を行ってください。

1 キーボードの「インターネット」ボタンを押します。または、画面の左の方にある をダブルクリックします。

「インターネット」ボタン

ヒント プレサリオのキーボードには、このほかにも情報検索サイトやショッピングチャネルなどに接続できる便利なボタンがあります。詳しくは「4 プレサリオの便利な機能」をご覧ください。

ヒント はじめてインターネットボタンを押した場合には、次のような画面が表示されます。

プロバイダとの契約が済んでいる場合は、「はい」をクリックしてください。次のページの画面が表示されます。プロバイダとの契約が済んでいない場合は「いいえ」をクリックしてください。「コンパックおすすめプロバイダ」の画面が表示されます(3-4、3-5ページ)。

この画面で「OK」をクリックしてから、もう一度「インターネット」ボタンを押してください。

次の画面が表示されます。この画面は、コンピュータから電話回線を通じてインターネットに接続するときに表示される画面です。プロバイダとの契約時に決めた名前が表示されています。

2 プロバイダとの契約時に決めたパスワードを入力して、「接続」をクリックします。

重 要 パスワードは画面には表示されません。英字の大文字と小文字なども区別されますので、注意して入力してください。

電話がつながると、次のような画面が表示されます。ここから電話料金がかかります。

ヒント この画面はCOMPAQのホームページの例です。画面の内容は実際のものと異なることがあります。

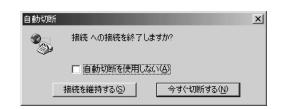
3 画面上で、ポインタが（指の形）に変わるところをクリックします。

別なページが表示されます。このように、ポインタが指の形に変わるところを次々にクリックして、いろいろなページを見ることを「ネットサーフィン」といいます。インターネットエクスプローラには、次のようなボタンがあります。

戻る（戻る）	クリックすると一つ前の画面に戻ることができます。
（進む）	「戻る」で前のページに戻ったあとでクリックすると、一つ先の画面に進むことができます。
（ホーム）	クリックすると、いつでも最初のページに戻ることができます。

このほか、詳しい使い方はインターネットエクスプローラのヘルプをご覧ください。

4 インターネットエクスプローラを終了するときは、画面の右上の をクリックします。

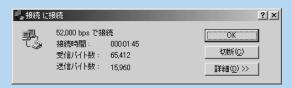
インターネットエクスプローラが終了して、次のような画面が表示されます。

5 「今すぐ切断する」をクリックします。

これで電話が切れます。ここで電話が切れるまで、電話料金がかかります。

電話回線について

画面の右下に が表示されている間は、電話がつながっている状態なので、電話料金がかかっています。上の手順5で「接続を維持する」を選んだ場合などは、うっかり電話を切り忘れないように、ときどき画面の右下を確認してください。電話を切るには、次のようにします。

1 をダブルクリックします。

次の画面が表示されます。

2 「切断」をクリックします。

電話が切れ、画面右下の が消えます。

電子メールの使い方

プロバイダとの契約が終わると、Webブラウザだけでなく、電子メールを使うこともできるようになります。ここでは、アウトルック エクスプレス(Outlook Express)というソフトを使って、電子メールの簡単な使い方を説明します。詳しくは、アウトルック エクスプレスのヘルプをご覧ください。

ヒント アウトルック エクスプレス以外の電子メールソフトを使う場合は、各ソフトのマニュアルまたはヘルプをご覧ください。

重 要 プロバイダによっては、オンラインで契約してすぐには電子メールを使えないこともあります。詳しくは、契約したプロバイダにお問い合わせください。

1 キーボードの「E-Mail」ボタンを押します。または、画面の左の方にある をダブルクリックします。

「E-Mail」ボタン

ヒント はじめて「E-Mail」ボタンを押した場合には、次のような画面が表示されます。

プロバイダとの契約が済んでいる場合は、「はい」をクリックしてください。次のページの画面が表示されます。プロバイダとの契約が済んでいない場合は「いいえ」をクリックしてください。「コンパックおすすめプロバイダ」の画面が表示されます(3-4、3-5ページ)。

3

この画面で「OK」をクリックしてから、もう一度「E-Mail」ボタンを押してください。

次の画面が表示されます。この画面は、コンピュータから電話回線を通じてインターネットに接続するときに表示される画面です。プロバイダとの契約時に決めた名前が表示されています。

ヒント メールの設定がまだ行われていない場合は、「通常使用するメールクライアントとして選択しますか？」と表示されるので、「はい」をクリックしてください。続いて「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。画面の指示に従って、メールの設定を行ってください。その際に必要な設定情報は、プロバイダとの契約時に送られてきた書類等をご覧になるか、各プロバイダにお問い合わせください。

2 プロバイダとの契約時に決めたパスワードを入力して、「接続」をクリックします。

重 要 パスワードは画面には表示されません。英字の大文字と小文字なども区別されますので、注意して入力してください。

電話がつながると、次のような画面が表示されます。ここから電話料金がかかります。

ヒント 電話料金を気にせずに、ゆっくりメールを書いたり、読んだりしたい場合は、「ファイル」メニューの「オフライン作業」をクリックすると電話を切ることができます。この状態でメールの送受信を行うと、「オンラインに切り替えますか？」と表示されるので、「はい」をクリックしてください。その時点で電話がつながります。

自分宛に新しいメールが届いていれば、このとき受信します。受信したメールは「受信トレイ」に入ります。「受信トレイ」をクリックして、届いたメールをクリックすれば読むことができます。

ヒント あとで自分宛のメールを受信したいときは、

（送受信）をクリックします。

ヒント アウトルック エクスプレスは、購入時にはHTMLメール（Webページと同じような形式のメール）を送れる設定になっています。HTMLメールを送るには、メールを受け取る相手のソフトがHTMLメールに対応している必要があります。それ以外の場合は、「ツール」メニューの「オプション」で、「送信」タブにある「メール送信の形式」を「テキスト形式」にしておいてください。

［メールを送信する］

では、さっそくメールを書いて送ってみましょう。

1 新しいメール（新しいメール）をクリックします。

次の画面が表示されます。

2 宛先のメールアドレスを入力します。

ヒント メールアドレスとは、namae@xxx.yyy.ne.jp のような形式の、メールの「宛名」のことです。

3 件名の欄をクリックして、タイトルを入力します。

4 下の広い欄をクリックして、メールの本文を入力します。

ヒント メールのタイトルや本文には、半角カナを使わないようにしましょう。正常に送信できないことがあります。

5 送信（送信）をクリックします。

メールが送信されます。
このほか、詳しい使い方は、アウトルック エクスプレスのヘルプをご覧ください。

6 アウトルック エクスプレスを終了するときは、画面の右上の ✕ をクリックします。

アウトルック エクスプレスが終了して、次のような画面が表示されます。ただし、オフラインで作業していた場合は表示されません。

7 「切断する」をクリックします。

これで電話が切れます。ここで電話が切れるまで、電話料金がかかります。

重 要 画面の右下に が表示されている間は、電話がつながっている状態なので、電話料金がかかっています。詳しくは3-16ページの「電話回線について」をご覧ください。

アドレス帳を使う

メールアドレスは長いアルファベットなので覚えにくく、毎回一文字ずつ入力するのは面倒です。そこで、相手の名前とメールアドレスを「アドレス帳」に登録しておけば、一覧から選ぶだけで宛名を入力できるようになります。

1 アウトルックエクスプレスの画面で、（アドレス帳）をクリックします。

次のような画面が表示されます。

2 （新規作成）をクリックします。

3 表示されるメニューから「新しい連絡先」をクリックします。

次のような画面が表示されます。

4 「姓」「名」の欄に、相手の名前を入力します。

ヒント 入力欄の上に、自動的に読みがなが表示されます。読みがなが正しくない場合は、右側にある「フリガナ」をクリックすると修正できます。

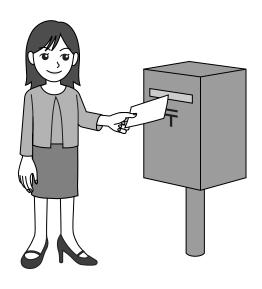
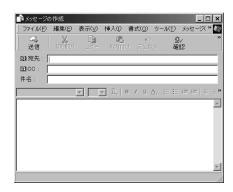
5 「電子メールアドレス」の欄に、相手のメールアドレスを入力します。

ヒント メールアドレスとは、namae@xxx.yyy.ne.jp のような形式の、メールの「宛名」のことです。

ヒント メールを受け取る相手のソフトがHTMLメールに対応していない場合などは、ここで「テキストの電子メールだけを送信する」を ☑ にしておくと便利です。

ヒント アドレス帳には、このほかに自宅や勤務先の住所や電話番号など、さまざまな情報を登録できます。詳しい使い方はアドレス帳のヘルプをご覧ください。

6 「OK」をクリックします。

これで名前とメールアドレスが登録できました。ほかの宛名を登録するには、手順2〜6を繰り返します。

［アドレス帳を使って宛名を入力する］

1 メールを作成する画面で、宛先：（宛先）をクリックします。

次のような画面が表示されます。

2 一覧から、宛先を選んでクリックします。

選んだ宛先が反転表示されます。

3「宛先」をクリックします。

右側の「メッセージの受信者」の欄に宛名が表示されます。

ヒント 「宛先」の下にある「CC」は「写し」の意味です。「このメールを参考までに送ります」というような場合に使います。その下の「BCC」も「写し」の意味ですが、こちらは誰に写しを送ったか、写しを送った本人以外に知られたくない場合に使います。

4「OK」をクリックします。

メールの作成画面に戻ります。「宛先」の欄に、先ほど選んだ宛名が表示されています。メールの本文を作成して送信してください。

ユーザー登録のしかた

コンパックでは、お客様へのさらに充実したサポートのため、ユーザー登録をお願いしています。
ユーザー登録は、Windowsのデスクトップ上にある から、インターネットを通じてオンラインで行うことができます。

「コンパック プレサリオ ユーザー登録センター」登録のしかた

重 要 ユーザー登録をオンラインで行うには、次のことが必要です。

- ・パソコンを電話回線に接続する
- ・プロバイダ(インターネット接続業者)と契約する

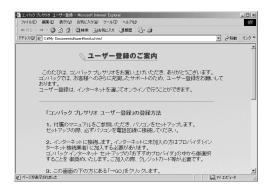
詳しくは、この章の「インターネットのはじめ方」をご覧ください。また、ユーザー登録の操作はインターネットエクスプローラで行います。操作に慣れていない方は、この章の「インターネットエクスプローラの使い方」をご覧ください。

[用意するもの]

●プレサリオ本体の機種名、シリアルナンバー
保証書に記載されています。

●Eメールアドレス
プロバイダから発行されます。複数のEメールアドレスをお持ちの方は、主に使用しているアドレスでご登録ください。

1 画面の左の方にある (プレサリオユーザ登録)をダブルクリックします。

次のような画面が表示されます。

2 画面の説明を読みます。

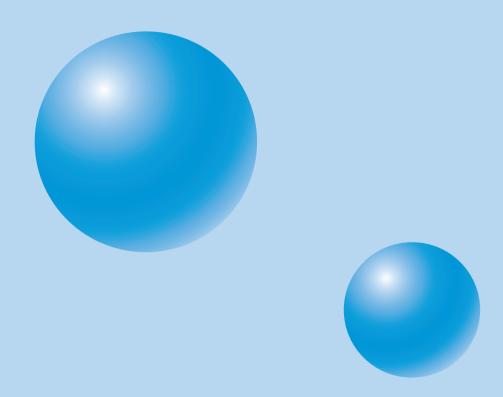
3 画面の下の方にある →GO (→GO)をクリックします。

ヒント 画面の下の方を見るには、[PageDown]キーを押します。

「コンパック プレサリオ ユーザー登録センター」のWebサイトに接続されます。

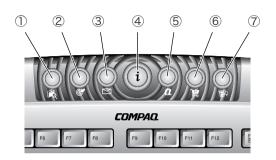
4 画面の指示にしたがって、住所、氏名等の必要事項を記入します。

5 記入が終わったら「送信」をクリックします。

ユーザー登録が完了すると、コンパックからお客様宛に「登録完了」のメールが送信されます。メールの内容をご確認ください。

4 プレサリオの便利な機能

インターネット キーボードの使い方

インターネット ボタンの使い方

プレサリオのインターネットキーボードにあるボタンを使うと、ボタンひとつでインターネットに接続したり、よく使うアプリケーションを呼び出したりすることができます。
インターネットキーボードには、次のようなボタンがあります。

番号	アイコン	名前と機能
1		検索ボタン インターネットエクスプローラが起動して、インターネットの情報検索サイトにジャンプできます。キーワードを入れれば、欲しい情報が素早く、簡単に見つかります。
2		アクティビティボタン インターネットエクスプローラが起動して、Presarioアクティビティセンタにジャンプできます。
3		E-mailボタン アウトルックエクスプレスが起動して、メールの送受信を行えます。
4		インターネット ボタン インターネットエクスプローラが起動して、インターネットに接続できます。出荷時の設定ではポータルサイト（さまざまな情報やほかのページへのリンクが掲載されている、インターネットへの入口）にジャンプします。
5		My Presario ボタン インターネットエクスプローラが起動して、マイプレサリオのホームページにジャンプできます。マイプレサリオでは、毎日の生活をより豊かにするヒントをお届けしています。

重 要　これらのボタンでAOLを起動することはできません。

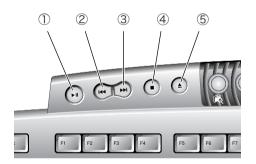
番号	アイコン	名前と機能
6		ショッピング ボタン インターネットエクスプローラが起動して、Presarioショッピングサイトにジャンプできます。インターネットを通じてお買い物が楽しめます。
7		エンターテインメントボタン インターネットエクスプローラが起動して、Presarioエンターテインメントサイトにジャンプできます。イベントのチケット情報や音楽、映画などの情報があります。

重 要　インターネット ボタンを使うには、プロバイダ(インターネット接続業者)と契約して、インターネットに接続する必要があります。プロバイダの設定については「3 インターネットガイド」をご覧ください。

ヒント　インターネット ボタンの出荷時設定での接続先は変更されることがありますので、プレサリオのホームページでご確認ください。

http://www.compaq.co.jp/athome/presario/

イージー アクセス ボタン

イージー アクセス ボタンには、次のようなボタンがあります。

番号	アイコン	名前と機能
1	▶II	再生／一時停止 CDの再生を開始したり、一時停止させます。
2	I◀◀	巻き戻し／前のトラック 前のトラックへスキップします。
3	▶▶I	早送り／次のトラック 次のトラックへスキップします。

番号	アイコン	名前と機能
4	■	停止 CDの再生を停止します。
5	⏏	イジェクト(取り出し) CDを取り出したり、挿入するときに押します。

そのほかのボタン

プレサリオのインターネット キーボードには、そのほかにも、次のような便利なボタンがあります。

番号	アイコン	名前と機能
1	🔇	ミュートボタン 一時的に消音(ミュート)したり、音量を元に戻します。
2	?	サポートボタン Presarioサポートの画面を表示します。パソコンの簡単なトラブル診断が行えます。
3	(ユーザー)	ユーザーボタン 自分で設定して、好きなアプリケーションを起動できます。
4	−	マイナスボタン 音量を下げます。
5	+	プラスボタン 音量を上げます。
6	☾	スリープ ボタン パソコンをスリープ(省電力)モードにしたり、解除したりします。パソコンがスリープ モードのときは、スリープ ランプが点灯します。

キーの操作

キーボードのキーには、大きく分けて4種類あります。

- ・メイン キー(タイププライター型)
- ・ファンクション キー(F1〜F12)
- ・矢印キー(▲▼◀▶)
- ・テンキー(電卓型)

キーの中には特別な働きをするものや、ほかのキーと一緒に押すことで別の働きをするものもあります。その働きは、使用するソフトウェアによって違います。このようなキーとキーを組み合わせて使う方法は、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

キー	名前と機能
▲▼◀▶	矢印キー カーソルを上下左右に動かします。
	Windowsキー 「スタート」メニューを開きます。
	Windows アプリケーションキー 通常、マウスの右クリックと同じ働きをします。
Alt	オルトキー 多くの場合、ほかのキーと組み合わせて使用します。[Alt]キーを単独で押すと、操作対象がカーソルからメニュー バーに移動します。キーの働きは、使用するソフトウェアによって違います。
BackSpace	バックスペースキー カーソルを左に1文字分動かし、そこにあった文字を削除します。

キー	名前と機能
Caps Lock	キャップスロックキー [Shift]を押しながら[Caps Lock]を押すとオンになり、入力する英字をすべて大文字にします。このキーがオンのときは、キーボードのCaps Lockランプが点灯します。
Ctrl	コントロールキー 通常、ほかのキーと組み合わせて使用します。キーの働きは、使用するプログラムによって違います。
Delete	デリートキー カーソルのすぐ右の文字を削除し、それ以降の文字を左に1文字分動かします。
End	エンドキー カーソルを行、文章、または表のセルの最後尾に移動させます。ほかのキーと組み合わせて使うこともあります。
Esc	エスケープキー 操作をキャンセルしたり、アプリケーションを終了させたり、1つ前の画面に戻るなど、使用するソフトウェアによって違う働きをします。
F1〜F12	ファンクション キー 各ソフトウェアごとに特定の働きが割り当てられています。例えば、ショートカットとして機能したり、スペルや文法のチェックを行ったり、メニュー バーをアクティブにします。特定のキーの組み合わせについて、詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Home	ホームキー カーソルを行、文章、または表のセルの先頭に移動させます。 [Home]は、ほかのキーと組み合わせて使うこともあります。
Insert	インサートキー 文字入力の挿入モードと上書モードを切り替えます。このキーを押すことで、新しい文字を入力したときに、現在の文章に挿入されるか、上書されるかが切り替わります。
Num Lock	ニューメリックロックキー テンキー(数字キー)の数字モードと編集モードを切り替えます。このキーがオンのときは、キーボードのNum Lockランプが点灯します。テンキーから数字を入力するには、このキーをオンにします。

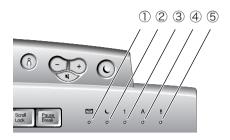
キー	名前と機能
Page Up ／Page Down	ページアップ／ページダウンキー カーソルやページを上下に移動させます。
Pause	ポーズキー 一時的に画面のスクロールを停止します。キーの働きは、使用するソフトウェアによって違います。
Prt Scrn	プリントスクリーンキー ほとんどのソフトウェアで、表示されている画面をクリップボードにコピーします。
Scroll Lock	スクロールロックキー 一部のソフトウェアで自動スクロール機能を停止し、矢印キーでスクロールをコントロールできるようにします。このキーがオンのときは、キーボードのScroll Lockランプが点灯します。キーの働きは、使用するソフトウェアによって違います。
Shift	シフトキー 多くの場合、ほかのキーと組み合わせて使用します。[Shift]を押しながら入力すると、英字は大文字になります。また、「!」や「%」などの記号が入力できます。そのほかの働きは、ソフトウェアによって違います。

日本語の入力

たとえば「鈴木」と入力する場合は、次のように操作します。詳しくはMicrosoft IMEのヘルプをご覧ください。

1　[漢字]キーを押して、日本語入力をオンにします。
　[漢字]キーを押すたびに、日本語入力のオン／オフが切り替わります。
2　ローマ字で「SUZUKI」と入力します。
　([S][U][Z][U][K][I]の順にキーを押します。)
3　[変換]キーまたはスペースキー(何も書かれていないキー)を押します。
　(「鈴木」と変換されるまで、何度か[変換]キーまたはスペースキーを押します。)
変換中の文字は反転表示されています。
4　「鈴木」と表示されたら、[Enter]キーを押します。
「鈴木」の変換が確定して、文字が反転表示でなくなります。

名前の読み方が難しい場合などは、「鈴」で一度変換し、「木」でもう一度変換するようにするとよいでしょう。[変換]キーまたはスペースキーの代わりに[F6]キーを押すとひらがな、[F7]キーを押すと全角のカタカナ、[F8]キーを押すと半角のカタカナ、[F9]キーを押すと全角の英(数)字、[F10]キーを押すと半角の英(数)字に変換できます。

キーボード状態表示ランプ

番号	アイコン	名前と機能
1	✉	E-Mailランプ E-Mailを受信したときに点灯します。このランプを使うには、デジタルダッシュボードのコントロールパネルで設定する必要があります。設定のしかたは、この章の「デジタルダッシュボード」をご覧ください。
2	☾	スリープ ランプ パソコンがスリープ モードのときに点灯します。 スリープ ボタンを押すと、パソコンをスリープ モードにしたり、スリープ モードを解除したりすることができます。
3	1	Num Lockランプ 点灯中は、テンキーから数字が入力できます。キーボードの[Num Lock]キーを押すと、この機能のオン／オフを切り替えることができます。
4	A	Caps Lockランプ 点灯中は、入力した英字をすべて大文字にします。キーボードの[Shift]キーを押しながら[Caps Lock]キーを押すと、この機能のオン／オフを切り替えることができます。
5	⤓	Scroll Lockランプ 自動スクロール機能が停止されていることを示します。キーボードの[Scroll Lock]キーを押すと、この機能のオン／オフを切り替えることができます。

ボタンの設定を変更する

キーボードのボタンの中には、設定を変更することができるものがあります。

お気に入りのWebサイトを登録する

まず、ユーザーボタンにお気に入りのWebサイトを登録する例を説明します。

1 Windowsの画面の左下にある「スタート」をクリックします。

2 表示されるメニューから、「設定」にポインタを合わせ、「コントロール パネル」をクリックします。

「コントロール パネル」の画面が表示されます。

3 (イージー アクセス ボタン サポート)をダブルクリックします。

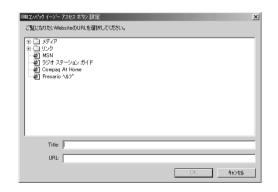
ヒント (イージー アクセス ボタン サポート)が表示されていない場合は、よく使う機能だけが表示されている状態です。この場合は、画面の左側に青字で表示されている「すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

次のような画面が表示されます。

4 設定したいキーボードのボタン(ここでは例としてユーザーボタン)を押します。

次のような画面が表示されます。

5 「新しいWebsiteを表示。」をクリックして にしてから、「進む」をクリックします。

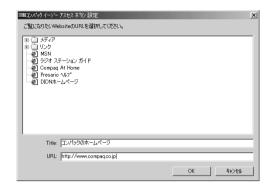
ヒント 「デフォルト設定に戻す。」をクリックして にしてから、「進む」をクリックすると、購入時の設定に戻すことができます。「デフォルト設定に戻す」が表示されないときは、ボタンは購入時の設定になっています。

次のような画面が表示されます。

6 「Title:」の欄に、Webサイトにつける分かりやすい名前を入力します。

ヒント ここでは、例として「コンパックのホームページ」と入力しています。

7 「URL:」の欄に、目的のWebサイトのアドレスを正確に入力します。

ヒント ここでは、例として「http://www.compaq.co.jp」と入力しています。

ヒント タイトルやURLを入力するかわりに、画面に表示される一覧からWebサイトを選ぶこともできます。

8 「OK」をクリックします。

次のような画面が表示されます。

9 「OK」をクリックします。

これで設定は終わりです。この状態でユーザーボタンを押すと、インターネットエクスプローラが起動して、コンパックのホームページへジャンプします。

ヒント そのほかのボタンも、同じような手順でお気に入りのWebサイトを登録できます。

お気に入りのプログラムを登録する

続いて、E-Mailボタンにお気に入りのプログラムを登録する例を説明します。

1 Windowsの画面の左下にある「スタート」をクリックします。

2 表示されるメニューから、「設定」にポインタを合わせ、「コントロール パネル」をクリックします。

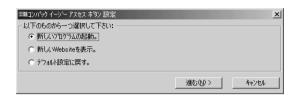
「コントロール パネル」の画面が表示されます。

3 (イージー アクセス ボタン サポート)をダブルクリックします。

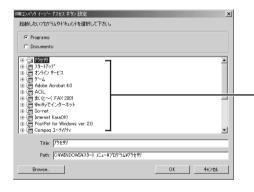
ヒント (イージー アクセス ボタン サポート)が表示されていない場合は、よく使う機能だけが表示されている状態です。この場合は、画面の左側に青字で表示されている「すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

次のような画面が表示されます。

4 設定したいキーボードのボタン(ここでは例としてE-Mailボタン)を押します。

次のような画面が表示されます。

5 「新しいプログラムの起動。」をクリックして ◉ にしてから、「進む」をクリックします。

ヒント 「デフォルト設定に戻す。」をクリックして ◉ にしてから、「進む」をクリックすると、購入時の設定に戻すことができます。「デフォルト設定に戻す」が表示されないときは、ボタンは購入時の設定になっています。

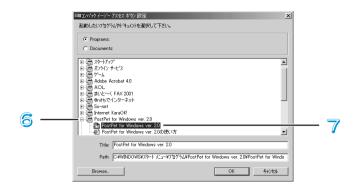
次のような画面が表示されます。

この部分に表示される内容は、スタートメニューの「プログラム」の内容に対応しています。左端の ⊞ をクリックすると、各プログラムのアイコンが表示されます。右端の ▲ または ▼ をクリックすると、続きを見ることができます。

6 目的のフォルダの左側にある ⊞ をクリックします。

ヒント ここでは、例として「PostPet for Windows ver.2.0」をクリックしています。

7 目的のプログラムのアイコンをクリックします。

ヒント ここでは、例として「PostPet for Windows ver.2.0」のアイコンをクリックしています。

ヒント 一覧から選ぶかわりに、「Path:」の欄にプログラムのパスとファイル名を入力することもできます。「Browse」をクリックすると、ファイルを開くときと同じような画面が表示され、ファイルを探しやすくなります。また、画面の上の方にある「Documents」を ◉ にすると、「My Documents」フォルダの内容を表示できます。

8 「OK」をクリックします。

次のような画面が表示されます。

9 「OK」をクリックします。

これで設定は終わりです。この状態でE-Mailボタンを押すと、PostPetが起動します。

ヒント そのほかのボタンも、同じような手順でお気に入りのプログラムを登録できます。

プログラムの探し方

ボタンの設定画面の内容は、スタートメニューの「プログラム」の内容に対応しています。
各プログラムは、標準的なセットアップを行った場合、次の場所にあります。

PostPet

PostPet for Windows ver.2.0 ― PostPet for Windows ver.2.0

Microsoft Word(一部機種のみ)

Microsoft Word(右端の ▼ を何度かクリックすると表示されます)

スクロール マウスの使い方

スクロール マウスは、左右のボタンの間に小さなホイールが付いているのが特徴です。このホイールを使うと、スクロール バーを使わずにほとんどの文書やウィンドウをスクロールさせることができます。

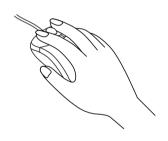
マウスの基本操作

マウスの基本的な操作方法は次のとおりです。詳しくは、アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

操作の名前	操作のしかた
クリック	マウスの左ボタンを1回押して離します。
ダブルクリック	マウスの左ボタンを2回、すばやく押します。ダブルクリックが遅すぎると、パソコンはクリックとして認識します。
メニューを選択	メニュー項目にポインタを合わせてクリックします。
グラフィックを選択	(アプリケーションによって違います) [方法1] 1.選択したい範囲の端にポインタを合わせます。 2.マウスの左ボタンを押したまま、選択したい範囲の反対側の端までマウスを動かします。 3.ボタンを離します。 [方法2] 1.選択したいグラフィックにポインタを合わせてクリックします。
テキストを選択	1.選択したい文字列の最初の文字にポインタを合わせます。 2.マウスの左ボタンを押したまま、選択したい文字列の最後の文字までマウスを動かします。 3.ボタンを離します。
ドラッグ アンド ドロップ (グラフィック)	1.上の「グラフィックを選択」の方法でグラフィックを選択します。 2.ポインタをグラフィックに合わせます。 3.マウスの左ボタンを押したまま、グラフィックが目的の位置に来るまでマウスを動かします。 4.ボタンを離します。
ドラッグ アンド ドロップ (テキスト)	1.上の「テキストを選択」の方法でテキストを選択します。 2.選択されたテキストの内側にポインタを合わせます。 3.マウスの左ボタンを押したまま、テキストが目的の位置に来るまでマウスを動かします。 4.ボタンを離します。
右クリック	マウスの右ボタンをクリックすると、状況によって異なるショートカット メニューが表示されます。

スクロールとズーム

スクロール マウスは､通常のマウスの機能に加えて､左右や対角線方向に移動させることができます。

操作の名前	操作のしかた
オートスクロール	1.ホイールを押したままにします。 2.スクロールさせたい方向(垂直､水平､対角線方向)にマウスを移動させます｡ポインタを開始位置から遠ざけるにつれて､スクロールが速くなります。 3. オートスクロールを停止するには､ホイールを離します。
ホイールスクロール	上にスクロールさせるには､ホイールを手前から奥に回します。 下にスクロールさせるには､ホイールを奥から手前に回します。
ズーム	1. ポインタをアプリケーションのウィンドウ内に合わせます。 2. キーボードの[Ctrl]キーを押したままにします。 3. 拡大するには､ホイールを奥から手前に回します｡縮小するには､ホイールを手前から奥に回します。

スクロール マウスの設定を変更する

ボタンの割り当てやポインタ(カーソル)の動き方など、マウスの設定を変更できます。

1 Windowsの画面の左下にある「スタート」をクリックします。

2 表示されるメニューから、「設定」にポインタを合わせ、「コントロール パネル」をクリックします。

「コントロール パネル」の画面が表示されます。

3 (マウス)をダブルクリックします。

「マウスのプロパティ」の画面が表示されます。

4 好みの設定を選んで、「OK」をクリックします。

次のような設定を行うことができます。

・ボタン

　ボタンの右きき用／左きき用の設定や、ダブルクリックの速度の設定ができます。

・ポインタ

　ポインタのデザインなどを選択できます。

・ポインタ オプション

　ポインタの移動速度などの設定ができます。ポインタを自動的に既定のボタン上移動させる設定や、ポインタの軌跡を表示する設定もできます。

4

CD／CD-RWドライブの使い方

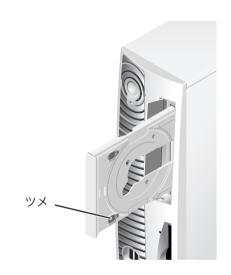
パソコンに装備されているドライブの種類によって、次のようなメディアが利用できます。

CDドライブ	音楽CD、ビデオCDが再生できます。
CD-RWドライブ	音楽CD、ビデオCDのほか、データを書き込めるCD-Rや、データの書き換えもできるCD-RWを利用できます。

プレサリオにはトレイ型CD／CD-RWドライブが装備されています。ドライブにディスクを挿入するには、次のようにしてください。

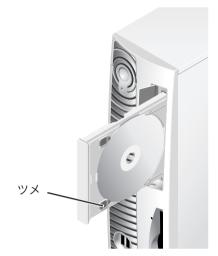
1 本体前面またはインターネット キーボードにあるイジェクトボタンを押します。

トレイが出てきます。

2 トレイのツメを引き出します。

重要 モデルによっては、ツメが固定式のものがあります。

重要 このツメは、プレサリオを縦置きにして使うときにディスクを保持するためのものです。縦置きで使う場合は、必ずツメを引き出してお使いください。ツメを引き出さずにディスクを入れると、ディスクが破損することがあります。
モデルによって、ツメを引き出すときにスライドさせるタイプと、回転させるタイプがあります。

3 ディスクの表面に触れないように、ディスクの中心の穴と外側の縁を持って慎重にケースから取り出します。

4 ラベル面をコンピュータの前面側から見て右にして、ディスクをツメに引っかけるようにしてトレイに置きます。

重 要 このとき、ディスクを落とさないように注意してください。また、ツメがディスクを確実に保持していることを確認してください。

5 イジェクトボタンを押します。

トレイが本体に収納されます。
CD／CD-RWドライブからディスクを取り出すには、本体前面またはインターネット キーボードにあるイジェクト(取り出し)ボタンを押します。

手動でのディスク取り出し

トレイ型CD／CD-RWドライブから手動でディスクを取り出す場合は、ドライブの扉を手で開けて、大きめのペーパー クリップを伸ばして作った針金などの先を、ドライブ前面にある穴にゆっくりと押し込んでください。

重 要 取り出し用の穴は、モデルにより位置が異なることがあります。また、モデルによっては取り出し用の穴がないことがあります。

音楽CDの再生

自動的に開始される音楽CDを再生するには、ディスクをCD／CD-RWドライブに入れます。数秒後、自動的にディスクが再生されます。
自動的に開始されない音楽CDを再生するには、インターネット キーボードの「再生」ボタンを押すか、次のようにWindowsのメディアプレーヤーを使います。

1 「スタート」をクリックし、「プログラム」「アクセサリ」「エンターテイメント」の順にポイントして、「Windows Media Player」をクリックします。または、画面の左の方にある をダブルクリックします。

「メディアプレーヤー」の画面が表示されます。

2 (再生)ボタンをクリックします。

CDの再生が開始されます。

(停止)をクリックすると、CDの再生が停止します。

ドライブからディスクを取り出すには、本体のイジェクトボタンを押します。

ヒント メディアプレーヤーの「スキンセレクタ」を使うと、プレーヤー画面のデザインを選ぶことができます。画面のデザインによって、再生ボタンや停止ボタンのデザインは異なります。

そのほかのドライブ

ディスケット(フロッピー)ドライブ

ディスケット ドライブにディスケット(フロッピーディスク)を入れるには、ディスケットのラベル面をコンピュータの前面側から見て右にして、ディスケットの矢印をドライブの方に向けてゆっくり差し込みます。

ディスケットを取り出すには、ディスケット ドライブのイジェクト ボタンを押します。ディスケットが少し出てくるので、つまんで引き出します。

重 要 ドライブがディスケットの読み込みや書き込みをしているときにディスケットを取り出すと、ディスケットやディスケットに保存されているデータが破損することがあります。ディスケットは、ディスケット ドライブの読み込みや書き込みが終わってから取り出してください。

ヒント プレサリオのディスケットドライブは2モード対応です。720KBまたは1.44MBフォーマットのディスケットを使用できます。1.2MBフォーマットのディスケットは使用できません。

各種ドライブの見分け方

ディスケット ドライブ、ハードディスク ドライブ、CD／CD-RWドライブは、次のようにして見分けることができます。

1 デスクトップ上で (マイ コンピュータ)をダブルクリックします。

「マイ コンピュータ」ウィンドウの中に、各ドライブのアイコンが表示されます。ドライブ名は、対応するアイコンの下または隣に表示されています。

 ディスケット ドライブ

 ハード ディスク

 CD／CD-RWドライブ

ハードディスクの容量の確認

ハード ディスクの容量は、次のようにして確認できます。

1 デスクトップ上で (マイ コンピュータ)をダブルクリックします。

「マイ コンピュータ」ウィンドウの中に、各ドライブのアイコンが表示されます。

2 (ハード ディスクのアイコン)を右クリックします。

3 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

ハードディスクのサイズが表示されます。

デジタルダッシュボード

デジタルダッシュボードの設定

デジタルダッシュボードとは、インターネットを通じてパソコンに正しい時刻を取り込んだり、電子メールを受信したときにインターネットキーボードのE-Mailランプを点灯させる機能です。デジタルダッシュボードを使うには、次のように設定します。

重 要 デジタルダッシュボードの機能を使うときは、パソコンの電源をオンにしておいてください。また、デジタルダッシュボードの機能でインターネットからの時刻の取り込みや電子メールのチェックを行うと、電話料金やプロバイダへの接続料金がかかります。

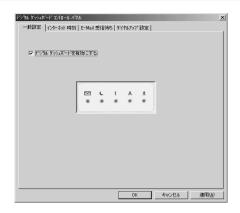
1 Windowsの画面の左下にある「スタート」をクリックします。

2 表示されるメニューから、「設定」にポインタを合わせ、「コントロール パネル」をクリックします。

「コントロール パネル」の画面が表示されます。

3 （デジタル ダッシュボード）をダブルクリックします。

ヒント （デジタル ダッシュボード）が表示されていない場合は、よく使う機能だけが表示されている状態です。この場合は、画面の左側に青字で表示されている「すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

次のような画面が表示されます。

4 「デジタルダッシュボードを有効にする」が☑になっていることを確認します。□になっている場合は、クリックして☑にします。

インターネットから時刻を取り込む

1 「インターネット時刻」をクリックします。

次のような画面が表示されます。

2 インターネットを通じてパソコンに正しい時刻を取り込むには、「PCの時間同期機能を有効にする。」をクリックして☑にします。

重 要 機能を有効にするには、このあとの「ダイヤルアップの設定」を行う必要があります。

ヒント 購入時の設定では、時刻の取り込みは毎日15:00に行われます。変更する場合は、「インターネット接続の時間設定」をクリックし、「時刻同期」の画面で「スケジュール」をクリックして設定を変更してください。詳しくは画面右上の ? をクリックしてから各項目をクリックして、ヘルプをご覧ください。

電子メールをチェックする(E-mailランプを使う)

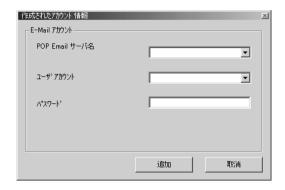
1 「E-Mail受信待ち」をクリックします。

次のような画面が表示されます。

2 電子メールをチェックするには、「未読E-Mailの通知機能を有効にします。」をクリックして ☑ にします。

3 E-Mailランプを使うには、「新規にMailを受信した際、E-Mailランプを点灯する。」が ☑ になっていることを確認します。□ になっている場合は、クリックして ☑ にします。

4 「追加」をクリックします。

次のような画面が表示されます。

5 「POP Emailサーバ名」の欄に、プロバイダのPOPサーバのアドレスを入力します。

6 「ユーザアカウント」の欄に、プロバイダに登録してあるユーザ名を入力します。

7 「パスワード」の欄に、プロバイダに登録してあるパスワードを入力します。

ヒント 設定に必要な情報は、プロバイダとの契約時に送られてきた書類等をご覧になるか、各プロバイダにお問い合わせください。

8 「追加」をクリックします。

前の画面に戻ります。「E-Mailアカウント」の欄に、いま登録したアカウントが表示されています。

9 表示されているE-Mailアカウントをクリックして☑にします。

アカウントが反転表示され、右側の「POP Emailサーバ名」「ユーザアカウント」「パスワード」の欄に内容が表示されます。

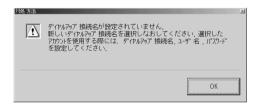
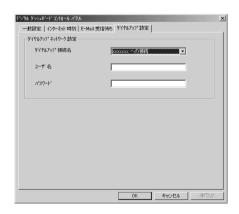
重 要 機能を有効にするには、このあとの「ダイヤルアップの設定」を行う必要があります。

ヒント 購入時の設定では、電子メールのチェックは1日1回、16:00に行われます。変更する場合は、「インターネット接続の時間設定」をクリックし、「E-mailチェック」の画面で「スケジュール」をクリックして設定を変更してください。1日に2回以上チェックする場合は、さらに「詳細設定」をクリックして設定してください。詳しくは画面右上の **?** をクリックしてから各項目をクリックして、ヘルプをご覧ください。

ダイヤルアップの設定

1 「ダイヤルアップ設定」をクリックします。

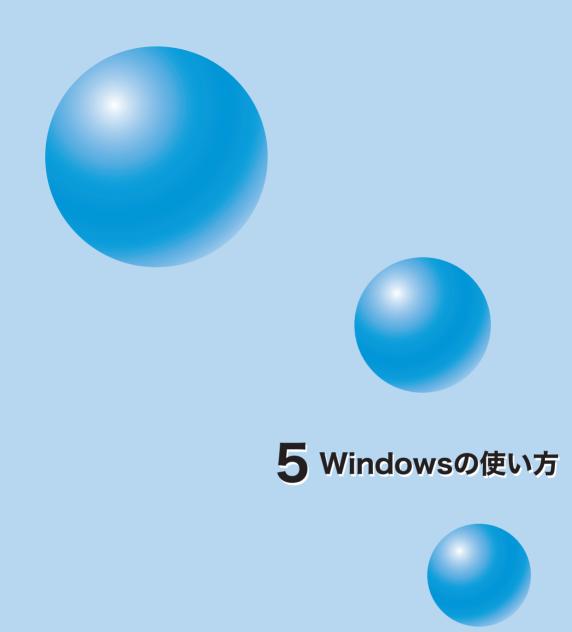
はじめて設定する場合だけ、次のような画面が表示されます。ここでは「OK」をクリックしてください。

次のような画面が表示されます。

2 「ダイヤルアップ接続名」の欄に、使いたい接続の名前が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、右側にある ▼ をクリックして、表示される一覧から使いたい接続をクリックします。

3 「ユーザ名」の欄に、プロバイダに登録してあるユーザ名を入力します。

4 「パスワード」の欄に、プロバイダに登録してあるパスワードを入力します。

5 「OK」をクリックします。

これで設定は終わりです。

5 Windowsの使い方

Windowsの使い方

Windowsは、パソコン用のオペレーティング システム(OS)です。
OSとは、パソコンの基本になるソフトウェアです。ワープロやグラフィックなどのアプリケーションソフトを動かすのも、モニタの画面を表示するのも、キーボードやマウスなどの装置を動かすのも、みなOSが管理しているのです。
Windowsでは、メニュー項目や小さな絵文字(アイコンといいます)をクリックするだけで作業を行うことができます。また、いくつかのアプリケーションを同時に実行して、アプリケーションの間でデータを共有することもできます。

重 要 プレサリオを初めて使うときは、Windowsのセットアップを行う必要があります。Windowsのセットアップのしかたは、別冊の「はじめようプレサリオ」をご覧ください。

ヒント このプレサリオのOSは、「Windows Millennium Edition(Windows Me)」です。

起動ディスクを作る

ディスケット(フロッピーディスク)にWindowsの起動ディスクを作っておくと、何らかのトラブルでWindowsが起動しなくなってしまったときに役立ちます。ハードディスクからWindowsが起動できなくなってしまった場合でも、起動ディスクでWindowsを起動して、トラブルの原因を調べることができます。

起動ディスクを作るには、「アプリケーションの追加と削除」を使います。

1 実行中のプログラムをすべて終了します。

2 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントして、「コントロール パネル」をクリックします。

3 (アプリケーションの追加と削除)をダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 「起動ディスク」をクリックします。

「起動ディスク」の画面が表示されます。

5 市販のフロッピーディスクに、「Windows Millennium Edition 起動ディスク」と書いたラベルを貼ります。

6 フロッピーディスクをドライブに挿入します。

7 「ディスクの作成」をクリックします。

次のような画面が表示されます。

8 フロッピーディスクがドライブに入っていることを確認します。

9 「OK」をクリックします。

ディスクの作成中は、次のような画面が表示されます。

ディスクの作成が終わると、「起動ディスク」の画面に戻ります。

10 ディスケットドライブのアクセスランプが消えていることを確認してから、イジェクトボタンを押してディスケットを取り出します。

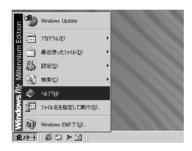
11「起動ディスク」の画面を閉じるには、「OK」をクリックします。

重 要 起動ディスクは大切に保管してください。

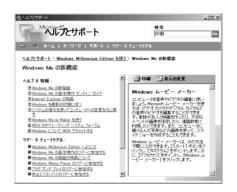
ヘルプについて

Windowsの機能で分からないことがある場合は、Windowsの「ヘルプ」をご覧ください。
ヘルプは、Windowsに関するさまざまな質問に答えてくれる便利なツールです。ヘルプで知りたい情報を探すには、次のようにします。

1「スタート」をクリックします。

2「ヘルプ」をクリックします。

ヘルプの画面が表示されます。

3 知りたい項目をクリックします。

知りたい項目をクリックすると、さらに細かい項目が表示されます。その中から知りたい項目をクリックします。このようにして、次々に細かい項目を選んでいくと、説明が表示されます。

ヒント 下線が付いていたり、ポインタを合わせると色が変わったりする文字には、さらに細かい項目があります。

ヒント ヘルプ画面の右上にある「検索」の欄に、知りたい言葉を入力して「Go」をクリックすると、入力した言葉に関係のある項目が表示されます。

Windowsや、多くのアプリケーションでは、[F1]キーを押すとヘルプが表示されます。アプリケーションのヘルプの使い方は、この本の説明と異なることがあります。

4 ヘルプを終了するときは、画面の右上の ☒ をクリックします。

5

デスクトップの使い方

デスクトップとは、Windowsが起動したときに表示される画面全体のことです。デスクトップは好みに合わせて変更できます。

重 要 本文中の画面は、実際と多少異なることがあります。

番号	名前	説明
1	アイコン	ファイル、フォルダ、プログラムなどを表す絵文字です。
2	デスクトップ	この画面全体のことです。
3	「スタート」ボタン	クリックすると、アプリケーションの起動、設定の変更、ファイルの検索、ヘルプの表示、Windowsの終了などのメニューが表示されます。
4	タスクバー	使用中のアプリケーションやフォルダが表示されます。表示されているアプリケーションやフォルダをクリックすると、作業ができるようになります。

ショートカットを作る

プレサリオに入っているアプリケーションは、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントして……というふうにしても起動できますが、「ショートカット」を作れば、画面上のショートカットをダブルクリックするだけで起動できます。ここでは、例として「ペイント」というアプリケーションのショートカットを作ってみましょう。

ヒント 「ペイント」はWindowsに付属しているアプリケーションソフトです。簡単な絵や図形を描くことができます。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「アクセサリ」の順にポイントします。

2 「ペイント」をポイントします。

3 [Ctrl]キーと、マウスの左ボタンを押しながら、「ペイント」を画面上の何もない位置までドラッグして、左ボタンを離します。

重 要 ここで[Ctrl]キーを押していないと、スタートメニューから「ペイント」が消えてしまいます。左ボタンを離す前に、ポインタのそばに⊞(プラス記号)が表示されていることを確認してください。

「ペイント」のショートカット ペイント ができました。このショートカットをダブルクリックすると、「ペイント」が起動します。

ヒント 左ボタンを離した位置に関係なく、ショートカットは画面の左上から順に作成されます。

ショートカットはアプリケーションだけでなく、作成したファイルや、フォルダなどでも作ることができます。

1 画面上の何もない位置にポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックします。

2 メニューが表示されるので、「新規作成」をポイントして、「ショートカット」をクリックします。

5

「ショートカットの作成」の画面が表示されます。

3 「参照」をクリックします。

次のような画面が表示されます。

4 「ファイルの種類」の欄の右端の ▼ をクリックして、「すべてのファイル」をクリックします。

5 ショートカットを作成したいファイルのあるフォルダをダブルクリックします。

フォルダの中身が表示されます。必要に応じて5の手順を繰り返して、目的のファイルを表示させてください。

6 目的のファイルをクリックします。

「ファイル名」の欄に、目的のファイルの名前が表示されます。

7 「開く」をクリックします。

「ショートカットの作成」の画面に戻ります。

8 「次へ」をクリックします。

9 「名前の指定」の画面が表示されるので、ショートカットに付ける名前を入力して「完了」をクリックします。

ファイルのショートカットができました。このショートカットをダブルクリックすると、作成したソフトが起動して、ファイルが開きます。

ヒント アプリケーションソフトのファイル名が分かっている場合は、この方法でアプリケーションのショートカットを作ることもできます。

ヒント ファイルを削除したり移動したりすると、ショートカットは使えなくなります。

ヒント この方法で起動できるファイルは、作成したアプリケーションがプレサリオに入っているファイルだけです。

アイコンを並べ替える

よく使うアプリケーションなどを起動しやすいように、デスクトップのアイコンを並べ替えることができます。

1 画面上の何もない位置にポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックします。

2 メニューが表示されるので、「アイコンの整列」をクリックします。

3 並べ替える順序を選んでクリックします。

・名前順(アルファベット順)
・種類順(ファイルの拡張子順)
・サイズ順(ファイルのサイズ順)
・日付順(ファイルが作成または編集された日付順)

ヒント 「アイコンの自動整列」をクリックすると、アイコンをドラッグ&ドロップで移動した場合などに、自動的に並べ替えます。

ヒント アイコンを等間隔に整列させることもできます。右ボタンをクリックして表示されるメニューで、「等間隔に整列」をクリックします。

5

背景を変える

デスクトップの背景は、好きな絵柄に変更することができます。

1 画面上の何もない位置にポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックします。

2 メニューが表示されるので、「プロパティ」をクリックします。

3 「背景」をクリックします。

4 「壁紙」の一覧から、好きな背景を選んでクリックします。

5 「OK」をクリックします。

ヒント 「ペイント」などのグラフィックソフトで作成したファイル(ビットマップ形式)などを壁紙にすることもできます。一覧が表示された画面で「参照」をクリックして、壁紙にしたいファイルを選んでください。

スクリーン セーバーを使う

スクリーン セーバーとは、パソコンを使っていないときに、画面に動きのあるグラフィックなどを表示する機能です。

1 画面上の何もない位置にポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックします。

2 メニューが表示されるので、「プロパティ」をクリックします。

3 「スクリーン セーバー」をクリックします。

4 「スクリーン セーバー」の右側にある ▼ をクリックします。

5 表示されるメニューから、好きなスクリーン セーバーを選んでクリックします。

6 「設定」をクリックします。

スクリーン セーバーの種類によって、それぞれ違った設定項目が表示されます。

7 好きな設定を選びます。

5

8 「OK」をクリックします。

「プレビュー」をクリックすると、スクリーン セーバーの動き方を確認できます。元の画面に戻すには、マウスを少し動かします。

9 スクリーン セーバーの設定が終わったら、「OK」をクリックします。

キーボードやマウスの操作をしないまま、「待ち時間」で設定した時間がたつと、スクリーンセーバーの画面に切り替わります。元の画面に戻すには、マウスを少し動かします。
このほか、デスクトップのカスタマイズについて、詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

ファイルの整理

ヒント ファイルの保存のしかたは、別冊の「はじめようプレサリオ」ご覧ください。

新しいフォルダを作る

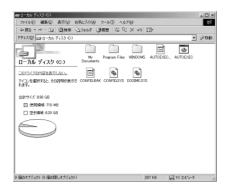
自分で作ったデータファイルは、どこに行ったか分からなくならないように整理しておきましょう。ここでは、ハードディスクのCドライブにフォルダを作る方法を説明します。この説明を参考にして、分かりやすい名前を付けたフォルダを作り、アプリケーションソフトなどで作ったデータを保存してください。

1 画面左上の （マイコンピュータ）をダブルクリックします。

マイコンピュータの画面が表示されます。

2 「ローカルディスク（C:)」をダブルクリックします。

次のような画面が表示されます。

ヒント 画面に何も表示されないときは、画面の左側に青字で表示されている「このドライブの内容をすべて表示する」をクリックしてください。

3 上の画面内にポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックします。

4 メニューが表示されるので、「新規作成」をポイントして、「フォルダ」をクリックします。

次のように、新しいフォルダが作成されます。

5 フォルダに付ける名前を入力します。

ヒント フォルダの名前が反転していないときは、フォルダのアイコンをクリックしてから名前の部分をクリックすると、入力できるようになります。

これでCドライブにフォルダができました。アプリケーションソフトなどで「名前を付けて保存」の画面が表示されたら、ここで作ったフォルダにデータを保存するようにしましょう。

ファイルを検索する

アプリケーションソフトによって、「名前を付けて保存」の画面が出たときに表示されるフォルダはまちまちです。また、うっかりいつもと違う場所にファイルを保存してしまうこともあるかもしれません。ここで説明するファイルの検索のしかたを覚えておけば、データがハードディスク内のどこにあっても探し出すことができます。

1 「スタート」ボタンをクリックして、「検索」をポイントし、「ファイルやフォルダ」をクリックします。

次の画面が表示されます。

2 「ファイルまたはフォルダの名前」の欄に、探したいファイル名（ここでは例として「プレサリオ」）を入力します。

ヒント ファイル名を一部だけ入力した場合は、その言葉を含むすべてのファイルを検索します。

3 探す場所の欄の右側の ▼ をクリックして、表示される一覧の中から「ローカル ハード ドライブ（C:;D:)」をクリックします。

ヒント 購入時の設定の場合、この設定でコンピュータ内のすべてのファイルを検索できます。

ヒント 「検索オプション」で「日付」をクリックすると、ファイルが作成または修正された期間や、ファイルにアクセスした期間を設定して探すことができます。ファイルをいつ頃作ったかや、いつ頃開いたかが分かっている場合に便利です。

ヒント 「検索オプション」で「種類」をクリックすると、検索するファイルの種類(作成したアプリケーション)を指定できます。ファイルをどのアプリケーションで作ったかが分かっている場合に便利です。

ヒント 「検索オプション」で「サイズ」をクリックすると、検索するファイルの大きさを指定できます。ファイルのおおよその大きさが分かっている場合に便利です。

4「検索開始」をクリックします。

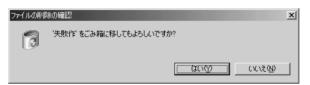
検索が行われ、しばらくすると右下のウィンドウに結果が表示されます。この画面で、ファイルを開いたり、コピーしたりすることができます。

5 検索画面を閉じるには、画面の右上の ☒ をクリックします。

ファイルやフォルダの削除

いらなくなったファイルやフォルダは、削除することができます。

1 削除したいファイルやフォルダを右クリックします。
2 「削除」をクリックします。

次のようなメッセージが表示されます。

3 ファイルやフォルダを削除する場合は「はい」をクリックします。削除しない場合は「いいえ」をクリックします。

ごみ箱の使い方

削除してごみ箱に入れたファイルやフォルダは、元に戻すこともできます。

1 デスクトップの (ごみ箱)をダブルクリックします。

ヒント ごみ箱にファイルやフォルダが入っている場合は、アイコンが になります。

ごみ箱の中身が表示されます。

2 元に戻したいファイルやフォルダをクリックします。

3 画面の左側に表示される「元の場所に戻す」をクリックします。

ファイルやフォルダが、元あった場所に戻ります。

ヒント ごみ箱は、大きさが決まっています。削除したファイルやフォルダでごみ箱がいっぱいになると、古い方から順に、ごみ箱から削除されます。ごみ箱から削除されたファイルやフォルダは、元に戻すことはできません。また、ごみ箱のメニューから「ごみ箱を空にする」を選ぶと、ごみ箱の中身がすべて削除され、元に戻すことはできなくなります。

Windows アクセサリについて

Windowsには、「アクセサリ」と呼ばれるいくつかのアプリケーションが付属しています。ここでは、おもなアクセサリを簡単に紹介します。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

[インタラクティブ トレーニング]

アニメーションを見たり音声で説明を聞いたりしながら、Windows Millennium Edition（Windows Me）の使い方を学習できます。

[ユーザー補助]

Windowsの画面を見やすくしたり、音を聞き取りやすくするための設定ができます。

[通信]

ダイヤルアップ ネットワーク

インターネットなどのネットワークや、ほかのパソコンに接続するために使います。

ホーム ネットワーク ウィザード

2台以上のパソコンをLAN（ローカルエリアネットワーク）で接続できます。プレサリオでLANを使用するには、別売のネットワークカードなどが必要です。

[エンターテイメント]

Windows Media Player（ウィンドウズメディアプレーヤー）

オーディオCDの再生や、.wav、.mid、.rmi、.avi、.mpgなどの形式で保存されているマルチメディア ファイル（音声と動画）の再生ができます。

サウンド レコーダー

音声ファイルを再生できます。また、パソコンに接続したマイクで音声を録音することもできます。

ボリューム コントロール

Windows の音の調整をするために使います。左右のスピーカのバランスを調節したり、音量を変えたり、特定の装置の消音を行うこともできます。

[システム ツール]

システムの復元

システムの状態を、過去のある時点の設定に戻すことができます。

ディスク クリーンアップ

不要なファイルを探し出して削除します。

デフラグ

ハードディスクのデータを整理して、高速にアクセスできるようにします。

スキャンディスク

ハードディスクにエラーがないかどうか調べます。

[そのほかのアクセサリ]

Windowsムービーメーカー

市販のデジタルビデオカメラで撮影した映像などを、パソコンに転送して編集できます。

電卓

単純なものから複雑なものまで、いろいろな計算をすることができます。

イメージング

画像を表示、拡大、回転、印刷することができます。

メモ帳

書式のないテキストを入力、編集するときに便利です。

ペイント

簡単な絵や図形を描いたり、編集したりすることができます。

ワードパッド

簡単なワープロです。

アクセサリの起動のしかた

1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「アクセサリ」の順にポイントします。

2 使いたいアクセサリ（この例では「ペイント」）をクリックします。

アプリケーションの追加と削除

プレサリオを使い慣れてくると、付属している以外のアプリケーションを購入してセットアップ(インストール)したくなることもあるでしょう。アプリケーションを選ぶときは、Windows Millennium Edition(Windows Me)に対応したものを選んでください。

アプリケーションにセットアップ(インストール)の説明書が付いている場合は、必ずその指示に従ってください。そうでない場合は、次の手順でアプリケーションをセットアップすることができます。

重 要 プレサリオに付属しているCDのセットアップのしかたは、別冊の「プレサリオアプリケーションガイド」をご覧ください。

CDからのセットアップ

アプリケーションをCDからセットアップする場合、ほとんどはCD／CD-RWドライブにソフトウェアのCDを挿入するとセットアップが自動的に開始されます。自動的に開始されない場合は、Windowsの「アプリケーションの追加と削除」を使ってソフトウェアをセットアップしてください。

1 実行中のプログラムをすべて終了します。

2 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントして、「コントロール パネル」をクリックします。

3 (アプリケーションの追加と削除)をダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 「インストール」をクリックします。

「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」ウィンドウが表示されます。

5 CDまたはフロッピーディスクをドライブに挿入します。
6 「次へ」をクリックします。

CDまたはフロッピーディスクに含まれているセットアップ プログラムが自動的に検出され、セットアップが開始されます。

ヒント アプリケーションのセットアップがうまくいかない場合は、各アプリケーションの開発元へお問い合わせください。

ダウンロードファイルのセットアップ

Webサイトからソフトウェアをダウンロードする場合は、Webページに記載されているセットアップの指示に従ってください。セットアップの指示が記載されていない場合は、次のようにしてセットアップします。

1 インターネット接続を切断します。
2 実行中のプログラムをすべて終了します。
3 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントして、「コントロール パネル」をクリックします。
4 (アプリケーションの追加と削除)をダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

5「インストール」をクリックします。

「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」ウィンドウが表示されます。

6「次へ」をクリックします。

「インストールプログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

7「参照」をクリックします。

8 ダウンロードしたソフトウェアの「Setup.exe」または「Install.exe」などのファイルを選びます。

9「開く」をクリックします。

10「完了」をクリックします。

セットアップが開始されます。

ヒント ダウンロードしたソフトウェアのセットアップがうまくいかない場合は、各Webサイトの管理者にお問い合わせください。

新しいハードウェアを接続したとき

重 要 各周辺機器メーカーから動作確認済みの周辺機器が発売されています。プレサリオのホームページなどで互換性をご確認の上、各メーカーの製品をご購入ください。詳しくは、各メーカーにお問い合わせください。

http://www.compaq.co.jp/athome/presario/

ドライバのセットアップ

パソコンにプリンタやゲームパッドなどの新しいハードウェアを接続する場合、次のような画面が表示されることがあります。

重 要 ハードウェアにドライバのセットアップ（インストール）の説明書が付いている場合は、必ずその指示に従ってください。そうでない場合は、次の手順でドライバをセットアップすることができます。

1 「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」をクリックして ◉ にします。

2 「次へ」をクリックします。

必要なファイルとドライバのセットアップが自動的に開始されます。
ドライバのセットアップが完了すると、次の画面が表示されます。

3 「完了」をクリックします。

新しいハードウェアを使うには、パソコンの再起動が必要な場合があります。

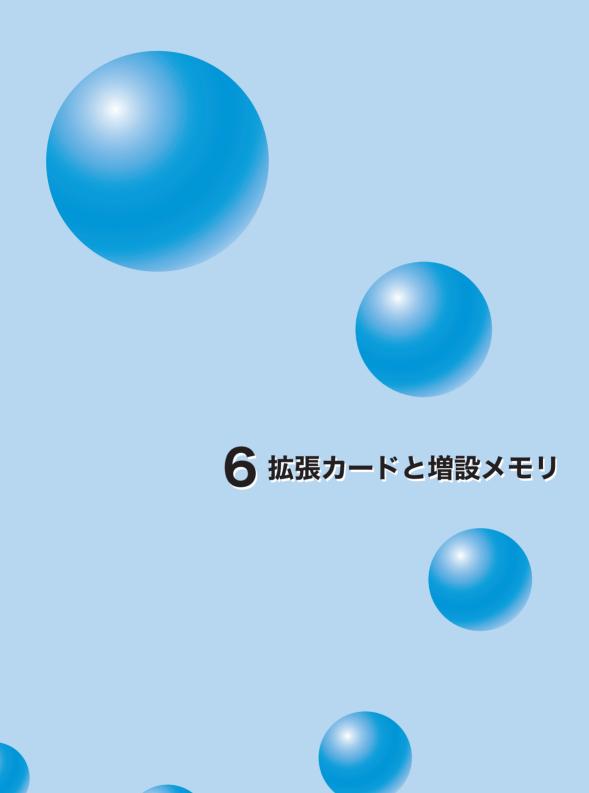
メンテナンス ウィザード

Windows に付属しているメンテナンス ウィザードを使うと、パソコンを効率よく活用できます。メンテナンス ウィザードは、「スキャンディスク」「ディスク」「ディスク クリーンアップ」などのメンテナンスツールをまとめて実行するツールです。ハード ディスクの点検や、空き領域の管理や、不要なファイルの削除を一度に行うことができます。
定期的なメンテナンス スケジュールを設定しておくと、プログラムの実行速度が速くなり、より多くのハード ディスク領域が利用でき、パソコンが効率よく動くようになります。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」「アクセサリ」「システム ツール」の順にポイントして、「メンテナンス ウィザード」をクリックします。

「メンテナンス ウィザード」の画面が表示されます。

2 「標準」が になっていることを確認して「次へ」をクリックします。
3 メンテナンスを行う時間帯を選んでクリックし、 を にします。
4 「次へ」をクリックします。
5 「完了」をクリックします。

手順3で選んだ時間帯にパソコンの電源をオンにしておくと、メンテナンスが実行されます。

6 拡張カードと増設メモリ

拡張カードと増設メモリの取り付け

プレサリオには、PCI拡張カードを取り付けたり、メモリを増設したりすることができます。

重 要　各周辺機器メーカーから動作確認済みの周辺機器が発売されています。プレサリオのホームページなどで互換性をご確認の上、各メーカーの製品をご購入ください。詳しくは、各メーカーにお問い合わせください。

http://www.compaq.co.jp/athome/presario/

作業の準備

プレサリオの内部を安全に取り扱うため、以下の警告および注意をよくお読みください。怪我や装置の破損を防ぐため、必ず指示に従ってください。

警告　感電による事故やパソコンの破損を防ぐため、カバーを取り外す前に必ず以下の点を確認してください。

・パソコンの電源がオフになっている
・パソコンのACコードがコンセントから外されている
・モデム回線がモジュラージャックから外されている
・ネットワーク ケーブルがすべて外されている
・その他のケーブルとACコードがすべてパソコンから外されている

注意　静電気の放電によるパソコンの破損を防ぐため、カバーを取り外す前に身体の静電気を放電してください。静電気を放電するには、塗装されていない金属面などに手を触れてください。作業中は、パソコン内部の回路基板に露出している金属部分には触れないでください。

重 要　作業が終わりACコードをコンセントに接続する際は、アース線をアース端子に接続することをおすすめします。

重 要　本文中の図は、実際のパソコン本体、コネクタ、周辺機器とは形状が多少異なることがあります。

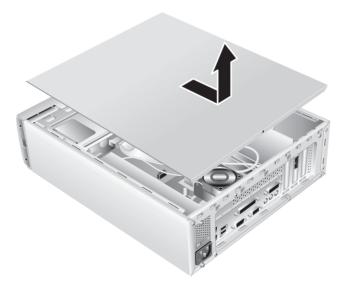
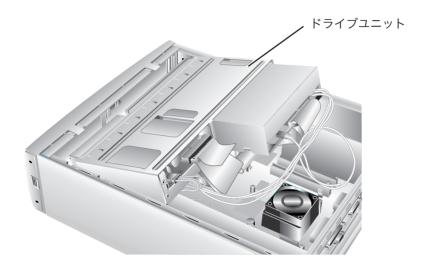
カバーの取り外し／取り付け

カバーの取り外し

作業は、整頓されていて、広く明るい場所を選んで行ってください。

1 本体を図のように横置きにします。

2 プラスドライバーでカバー固定ネジ（1本）を取り外します。

3 カバーを本体背面方向へ少しスライドさせてから、上に持ち上げて外します。

4 ドライブユニットを、本体背面方向へ少しスライドさせてから、上に持ち上げて外します。

重要 ドライブユニットから出ているケーブル類が抜けたり、傷ついたりしないように注意して作業してください。

5 ドライブユニットを図のように本体の上に置きます。

カバーの取り付け

1 ドライブユニットを、外したときと逆の手順で本体に取り付けます。

ドライブユニットの側面にある突起が、本体側にあるガイド溝にはまるように取り付けてください。

重 要 ドライブユニットから出ているケーブル類が抜けたり、傷ついたりしないように注意して作業してください。

2 カバーを本体に載せ、本体全面方向へスライドさせます。

カバーがきちんとはまっていることを確認してください。

3 プラスドライバーでカバー固定ネジ(1本)を取り付けます。

拡張カードの取り付け

拡張カードを取り付けると、パソコンの用途が一段と広がります。拡張カードにはいろいろな種類が揃っています。

重 要 IEEE1394が搭載されているモデルでは、拡張カード スロットに空きはありません。

重 要 拡張カードを購入する際は、Low Profile PCI(Peripheral Component Interconnect)カードを選んでください。このパソコンの拡張カード スロットはLow Profile PCIカード専用で、通常のPCIカードは使用できません。また、取り付けられるカードの長さは最長12cmまでです。詳しくは、各拡張カードのメーカーにお問い合わせください。

ヒント 拡張カードを取り付ける際には、パソコン内部の「システムリソース」を確保する必要があります。PCIカードは、取り付けが終わるとWindowsとBIOS(パソコン内部の基本入出力システム)に自動的に認識され、システムリソースが確保されます。このため、システムリソースを確保するための特別な操作は必要ありません。このしくみを「プラグ アンド プレイ」ということもあります。

拡張カードの挿入

拡張カードの取り付け方は、次のとおりです。

1 拡張カードの取り扱い説明書をすべてお読みください。

2 すべてのアプリケーションを終了します。

3 ディスケット、CDをすべて取り出します。
4 「スタート」をクリックして、「Windowsの終了」をクリックします。
5 [▲][▼]キーを押して、「終了」を選択してから「OK」をクリックします。

パソコンの電源がオフになります。

6 コンセントから、パソコンのACコードを抜きます。
7 本体背面から、すべてのケーブルとACコードを抜きます。
8 本体のカバーを取り外します。
9 ドライバーで固定ネジを外して金具を取り外し、別の場所に置いておきます。
10 空いている拡張カード スロットの位置を確認します。
11 システム ボードのスロットに拡張カードを確実に押し込みます。少しずつずらしながら押し込んでください。

重 要 空きスロットの位置や数は、モデルによって異なる場合があります。

12 拡張カードを、手順9で外したネジで固定します。
13 本体のカバーを元どおりに取り付けます。

PCIカードを取り付けた場合、次にコンピュータの電源を入れたときにWindowsが自動的に新しいカードを検出します。必要な場合は、カードの取扱説明書に従ってドライバのセットアップなどを行ってください。

メモリの増設

メモリを増設すると、パソコンとソフトウェアの性能が向上します。互換性のあるメモリについては、プレサリオのホームページなどでご確認ください。詳しくは、各メモリのメーカーにお問い合わせください。

http://www.compaq.co.jp/athome/presario/

現在パソコンに取り付けられているメモリの容量の確認のしかたは次のとおりです。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントして「コントロール パネル」をクリックします。
2 （システム）をダブルクリックします。
3 「全般」をクリックします。

「××MBのRAM」とメモリ容量が表示されます。

重 要　表示されるメモリの容量には、グラフィック表示用に自動的に割り当てられている容量は含まれません。このため、実際に取り付けられているメモリの容量より少なく表示される場合があります。また、この画面は表示の一例です。プロセッサの種類やRAMの容量はモデルによって異なります。

増設メモリの取り付け

増設メモリの取り付けかたは、次のとおりです。

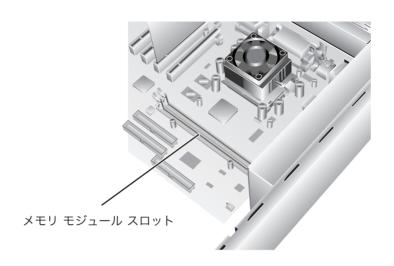
1 メモリの取扱説明書をすべてお読みください。
2 すべてのアプリケーションを終了します。
3 ディスケット、CDをすべて取り出します。
4 「スタート」をクリックして、「Windowsの終了」をクリックします。
5 [▲][▼]キーを押して、「終了」を選択してから「OK」をクリックします。

パソコンの電源がオフになります。

6 コンセントから、パソコンのACコードを抜きます。

7 本体背面から、すべてのケーブルとACコードを抜きます。

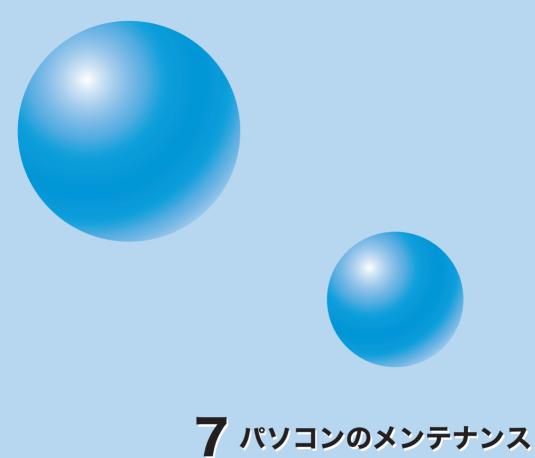
8 本体のカバーを取り外します。

9 下図を参考にして、メモリ モジュール スロットの位置を確認します。

10 メモリ モジュールをスロットに合わせ、カチッと音がして所定の位置に収まるまで、力を入れて下方向に押し込みます。

11 ラッチを内側にはめ込んでメモリ モジュールを固定します。

12 カバーを元どおりに取り付けます。

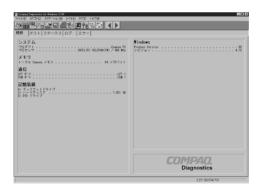
ヒント すでに取り付けられているメモリを取り外して、容量の大きいメモリに交換する場合は、手順10〜11の逆の手順でメモリを取り外してから、新しいメモリを取り付けます。

7 パソコンのメンテナンス

Presarioサポート

Windows デスクトップの (Presario サポート)をダブルクリックするか、キーボードの「サポート」ボタン(?)を押すと、次のツールが利用できます。

ツール	説明
Compaq Diagnostics	パソコンを簡単な方法でテストして、トラブルの診断を行うことができます。
System Record	プレサリオに付属しているすべての装置と、購入後に追加や変更を行ったすべての装置が記録されています。

Compaq Diagnostics

Compaq Diagnosticsを使うと、パソコンを簡単な方法でテストして、トラブルの診断を行うことができます。デスクトップの (Presario サポート)をダブルクリックするか、キーボードの「サポート」ボタン(?)を押して、「Support」画面で (Compaq Diagnostics)をダブルクリックすると起動します。
Compaq Diagnoticsが起動し、プレサリオに関する情報を分析している間は、作業の進行状況を示すバーと、進行状況を%で表した数字が表示されます。しばらくすると、システムの情報を示す「概要」の画面が表示されます。

重 要 Diagnosticsを使うときは、購入後に増設した周辺機器(プリンタ、TA、拡張ボードなど)をすべて外してください。また、CD/CD-RWドライブやディスケットドライブをテストする場合には、テストをはじめる前にクイックリストアCDやディスケットをドライブに入れておく必要があります。

画面の上部にアイコンが一列に表示されます。これらのアイコンをクリックすると、テスト項目についての情報が表示されます。各タブには、次のような機能があります。

タブ	説明
概要	システムの情報が表示されます。
テスト	テストするデバイスを選択します。「テスト開始」をクリックすると、テストが開始されます。
ステータス	テストの状態（進行状況や発見したエラーの有無）を表示します。
ログ	すべてのデバイス テストとその結果の詳細を記録します。
エラー	検出したエラーの詳細を報告します。

テストの実行のしかた

1 「テスト」タブをクリックします。

2 クイック、完全、カスタムからテストの種類を選んでクリックし、◇を◈にします。

3 カスタムを選んだ場合は、リストからテストを行うコンポーネントを選び、□をクリックして☑にします。

ヒント カスタム テストを実行する前にクイックまたは完全テストを実行してみるとよいでしょう。

コンポーネントのリストは、Windowsの「エクスプローラ」に似ています。⊞をクリックするとコンポーネントのフォルダが開き、コンポーネントをクリックするとテストの内容が表示されます。

テストを行うコンポーネントによっては、リストの右側の情報ウィンドウにオプションが表示されます。必要に応じてオプションを設定してください。

4 「対話形式モード」または「自動実行モード」を選び、◇をクリックして◈にします。

ヒント 「対話形式 モード」を選択した場合、対話形式テストの間はパソコンのそばを離れないでください。

5 画面の下部の「テストの開始」をクリックします。

自動的に「テスト」タブから「ステータス」タブに切り替わります。このウィンドウで、それぞれのテストの進行状況を確認できます。

7

テストが完了すると、テストに何も問題がない場合は、「ステータス」ウィンドウのバーが緑になり、テストが失敗した場合は赤になります。ウィンドウの下の部分には、実行したテストの詳細が表示されます。

「ログ」タブには、すべてのテストのリストと、各テストの実行回数情報、テストの所要時間、検出したエラー数が表示されます。この情報は、ウィンドウ下部の「保存」ボタンをクリックすると保存できます。

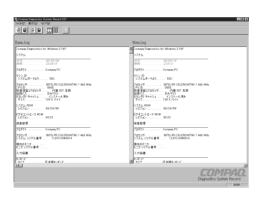
「エラー」タブには、エラー コードなど、検出したエラーの詳細が表示されます。

System Record

プレサリオに付属しているすべての装置と、購入後に追加や変更を行ったすべての装置が記録されています。デスクトップの(Presario サポート)をダブルクリックするか、キーボードの「サポート」ボタン(?)を押して、「Support」画面で(System Record)をダブルクリックすると起動します。

重 要 他社製の装置の一部は、記録されない場合があります。

左側のウィンドウには、前回System Recordを起動したとき(購入後、一度も起動していなければ購入時)のシステム構成が、右側のウィンドウには現在のシステム構成が表示されます。

(差分のみ表示)をクリックすると前回と今回の違いのみが、(全てを表示)をクリックするとすべての装置が表示されます。どちらの場合も、前回と今回で違う点が赤で表示されます。これによって、トラブルの原因を推測することができます。

パソコンを出荷時の状態に戻す

クイックリストア

何らかの理由で、パソコンに入っているWindowsやアプリケーションソフトを出荷時(購入時)の状態に戻したいときは、クイックリストアを使います。

重要 クイックリストアを行うと、ソフトウェアがプリインストールされていたお買い上げ時の状態に戻ります。ハード ディスクを再フォーマットするので、パソコン内のすべてのデータが消去されます。クイックリストアを実行すると完了までに1時間弱かかります。

重要 クイックリストアを実行するときには、購入後に増設した周辺機器(メモリ、プリンタ、TA、拡張ボードなど)をすべて外してください。

重要 クイックリストアを実行すると、パソコンのハード ディスクにあるすべてのデータが消去されます。購入後に作成したデータファイルなどを消去したくない場合は、クイックリストアを行う前にディスケットなどにデータをコピーしておいてください。

重要 クイックリストアが完了したら、Windowsを再セットアップする必要があります。

クイックリストアの手順は、次のとおりです。

1 1枚目のクイックリストアCD(「QuickRestore」と書かれたCDのうち、「 #1」と書かれているもの)をCD/CD-RWドライブに入れて、CD/CD-RWドライブを閉じます。

2 「スタート」をクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

3 ▼をクリックして、表示されるメニューから「再起動」をクリックします。

4 「OK」をクリックします。

コンピュータが再起動し、クイックリストアが始まります。
しばらくすると、「ようこそ」画面が表示されます。

5 「注意」の内容を読んでから[Enter]キーを押します。

「重要事項」画面が表示されます。

6 「重要事項」の内容を読んでから[Enter]キーを押します。

CDの枚数を選択する画面が表示されます。

7 [2]キーを押して「2.複数枚CDの復元」を選びます。

「機種選択」画面が表示されます。

8 お手もとのプレサリオの機種名が選択されていることを確認して、[Enter]キーを押します。

データの読み込み／書き込みが終わると、クイック リストアCDが自動的に排出され、「次のCDをCD/DVDドライブに挿入してください。」と表示されます。

9 2枚目のクイックリストアCD(「QuickRestore」と書かれたCDのうち、「#2」と書かれているもの)をドライブに入れて、CD／CD-RWドライブを閉じます。

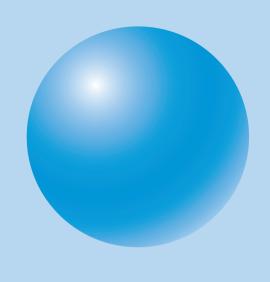
10 [Enter]キーを押します。

しばらくすると、2枚目のクイックリストアCDが自動的に排出されます。

11 もう一度、1枚目のクイックリストアCD(「QuickRestore」と書かれたCDのうち、「 #1」と書かれているもの)をCD／CD-RWドライブに入れて、CD／CD-RWドライブを閉じます。

しばらくすると、クイックリストアが実行されます。クイックリストアの実行中は、ハード ディスクへ復元されたソフトウェアのパーセントがステータス バーに表示されます。すべて完了すると、自動的にパソコンが再起動します。

12 パソコンが再起動して、COMPAQのロゴが表示されている間に、クイックリストアCDを取り出します。

再起動後、各種アプリケーション用の設定プログラムが自動的に実行されます。このプログラムですべての設定作業が終了すると、パソコンの再起動が2回、自動的に行われます。
コンピュータが再起動した後、タイムゾーンや日付／時刻の設定などを行って、Windowsを再セットアップする必要があります。

8 困ったときは

トラブルシューティング ガイド

このガイドでは、プレサリオで発生する可能性がある一般的な問題の確認と対処方法について説明します。

役立つヒント

パソコンやモニタ、ソフトウェアに問題が発生した場合、ユーザーサポートに連絡する前に、次のような一般的な対処法をお試しください。

- パソコンとモニタがコンセントに接続されていることを確認してください。
- コンピュータの電源がオンになっていて、緑色の電源ランプが点灯していることを確認してください。
- モニタの電源がオンになっていて、電源ランプが点灯していることを確認してください。
- モニタの表示がはっきりしない場合は、モニタの明るさとコントラストを調整してみてください。
- すべてのケーブルについて、外れていないか、また接続方法が間違っていないかを確認してください。
- コンピュータの電源をオンにする前に、ディスケット(フロッピー)ドライブからディスケット(フロッピーディスク)を取り出してください。
- 小さな問題は、Windows診断プログラムを実行すると識別・修復できる場合があります。

このガイドについて

このガイドは、問題ごとに原因と対処方法が記載されています。対処方法のとおりに操作しても問題が解決できない場合は、もう一度その対処方法にしたがって操作をしてみてください。また、その問題に対するすべての対処方法をお試しください。
それでも問題が解決できない場合は、「7 パソコンのメンテナンス」をご覧になるか、プレサリオ サポート センターにお問い合わせください。詳しくは、巻末の「付録　修理とお問い合わせ先」をご覧ください。

パソコンが動かない

●ソフトを使っていたら、突然止まってしまいました。

原因	対処方法
パソコンがハングアップ(ロック)しています。	この本の「2 電源のオン／オフと省電力機能」の「パソコンが動かないときは」をご覧ください。

サウンド

●音が出ません。

原因	対処方法
スピーカ ケーブルが正しく接続されていません。	通常の Windows 終了手順でパソコンの電源をオフにしてから、スピーカを接続し直します。詳しくは、別冊の「はじめようプレサリオ」をご覧ください。
ミュート(音量を一時的に消すこと)になっています。	タスクバーの (音量)をクリックし、「ミュート」の をクリックして にします。

●音量が低すぎます。

原因	対処方法
音量の設定が低すぎます。	タスクバーの (音量)をクリックし、音量つまみをクリックして上へドラッグするか、インターネット キーボードの音量 (+) ボタンを押します。

●音楽CDが再生されません。

原因	対処方法
この章の「CD／CD-RWドライブ」のトラブルシューティングの欄をご覧ください。	

8

●Windows タスクバーに (音量)のアイコンが表示されていません。

原因	対処方法
マルチメディア設定が変更されています。	1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントして、「コントロール パネル」をクリックします。 2. (サウンドとマルチメディア)をダブルクリックします。 3. 「サウンド」タブで、「音量の調節をタスクバーに表示する」を ☑ にして、「OK」をクリックします。

CD／CD-RWドライブ

●CD／CD-RWドライブがディスクを読み取らない、または読み取りの開始に時間がかかります。

原因	対処方法
CDが上下逆に挿入されています。	ラベル面をコンピュータの前面側から見て右にして、CDを挿入し直してください。
CDディスクに汚れが付いています。	CDクリーニング キットを使用してディスクを清掃してください。クリーニングキットはコンピュータ用品店でご購入ください。

ディスケット(フロッピー)ドライブ

●ドライブがディスケット(フロッピーディスク)を読み取りません。[中止(A), 再試行(R), 失敗(F)]というメッセージが表示されます。

原因	対処方法
ディスケットのフォーマットが違います。	Windows用以外のディスケットは読み取れません。また、Windows用であっても、1.2MBでフォーマットされたディスケットは読み取れません。

●「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key」というメッセージが表示されます。

原因	対処方法
パソコンの起動に必要なシステム ファイルが入っていないディスケットがドライブに挿入されています。	ドライブのアクセスが停止したら、ディスケットを取り出して、どれかキーを押してください。システムが起動します。

●ディスケットにデータを保存できません。

原因	対処方法
ディスケットのフォーマットが違います。	Windows用以外のディスケットにはデータを保存できません。また、Windows用であっても、1.2MBでフォーマットされたディスケットには保存できません。
ディスケットがフォーマットされていません。 (プレサリオで使えない形式でフォーマットされていないかどうか、確認してください。)	次の手順に従ってディスケットをフォーマットしてください。ただし、プレサリオで使えない形式のデータが入っている場合、フォーマットするとデータは消えてしまいますのでご注意ください。 1. デスクトップの (マイ コンピュータ)をダブルクリックします。 2. (3.5インチFD(A:))をクリックします。 3. 「ファイル」、「フォーマット」の順にクリックします。 4. 必要なオプションを選択し、「開始」をクリックします。 ディスケットのフォーマットが始まります。
ディスケットが書き込み禁止になっています。	ディスケットにある書き込み禁止タブを解除の位置までスライドしてください。
ディスケットの残容量がなくなっているか、ファイルが大きすぎます。	別のディスケットを使用するか、ファイルを圧縮してサイズを小さくしてください。
ファイルを保存するコマンドが正しく実行されませんでした。	ディスケット ドライブに情報を保存するときは、正しいドライブ名を選択していることを確認してください。
ディスケットが壊れています。	ディスケットを交換してください。
ディスケット ドライブに問題が発生しています。	プレサリオ サポート センターにお問い合わせください。詳しくは、巻末の「付録　修理とお問い合わせ先」をご覧ください。

モニタ(ディスプレイ)

●画面に何も表示されず、モニタの電源ランプが点灯していません。

原因	対処方法
モニタの電源ケーブルが、モニタやコンセントに接続されていません。	モニタの電源プラグをモニタ背面とコンセントに接続し直してください。

●画面に何も表示されません。

原因	対処方法
モニタの電源がオンになっていません。	モニタの電源ボタンを押してください。
モニタのケーブルが本体背面に正しく接続されていません。	モニタのケーブルを本体背面に接続し直してください。詳しくは、別冊の「はじめようプレサリオ」をご覧ください。
パソコン がスリープ モードになっています。スリープ モード中は、本体前面にある電源状態表示ランプがオレンジ色に点灯します。	電源ボタンを押すか、マウスを動かすなどして、パソコンのスリープモードを解除します。

●液晶モニタの画面いっぱいに表示されません。

原因	対処方法
液晶モニタの解像度が正しく設定されていません。	1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントして、「コントロール パネル」をクリックします。 2. (画面)をダブルクリックします。 3. 「設定」タブをクリックします。 4. 「画面の領域」の解像度調整つまみをクリックし、右にドラッグします。解像度が最大になるように設定してください。 5. 「OK」をクリックします。 新しい設定が適用されます。

キーボードとマウス

●キーボードのコマンドやキー入力がパソコンに認識されません。

原因	対処方法
キーボードのコネクタが正しく接続されていません。	マウスを使ってパソコンの電源をオフにしてください。 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。 2. 「終了」を 選択して、「OK」をクリックします。 電源がオフになったら、本体のUSBコネクタにキーボードを接続し直してパソコンを再起動します。
使用中のプログラムが、コマンドに反応しなくなりました。	マウスを使ってパソコンの電源をオフにしてください。手順は上の欄をご覧ください。
キーボードの修理が必要です。	プレサリオ サポート センターにお問い合わせください。詳しくは、巻末の「付録　修理とお問い合わせ先」をご覧ください。

●マウスが反応しないか、反応が遅すぎます。

原因	対処方法
マウス コネクタが正しく接続されていません。	キーボードを使ってパソコンの電源をオフにしてください。 1. [Ctrl]キーと[Esc]キーを同時に押します。 2. Windowsのスタート メニューから、矢印キーを使って「Windowsの終了」を選び、[Enter]キーを押します。 3. 矢印キーを使って、「終了」を 選択して、[Enter]キーを押します。 電源がオフになったら、マウス コネクタを本体背面に接続し直してパソコンを再起動します。
マウスのローラー ボールが汚れています。	マウスの底からローラー ボール カバーを取り外し、市販のマウス クリーニング キットでボールを清掃してください。

●マウスが垂直方向または水平方向にしか動きません。

原因	対処方法
マウスのローラー ボールが汚れています。	マウスの底からローラー ボール カバーを取り外し、市販のマウス クリーニング キットでボールを清掃してください。
マウスの修理が必要です。	マウスを交換してください。プレサリオ サポート センターにお問い合わせください。詳しくは、「サービスおよびサポートを受けるには」をご覧ください。

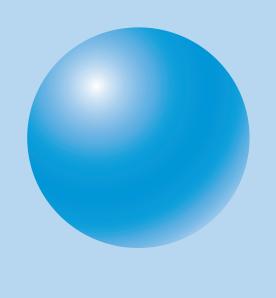
電源

●パソコンの電源をオンにできません。

原因	対処方法
本体前面にある電源ボタンを押していません。	本体前面にある電源ボタンを押してください。
電源プラグが本体背面やコンセントに正しく接続されていません。	電源プラグをパソコンの背面とコンセントに接続し直します。

Windows

●タスクバー(「スタート」ボタンがあるバー)が表示されません。

原因	対処方法
タスクバーが画面の下端(出荷時の設定の場合)に隠れてしまっています。	1. マウスを動かして、画面の下端にポインタを合わせます。 2. ポインタが ↕ の形に変わったら、上方向へドラッグ(マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かすこと)します。

9 各種規制への対応

各種規制への対応

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

通信ネットワーク認定

以下のラベルはご使用のコンピュータの「Telecommunications Regulatory Approval」に関する情報にアクセスする方法を伝えるためのものです。

FOR TELECOMMUNICATIONS APPROVALS SEE LABEL
ON THE INTEGRATED TELECOMMUNICATIONS DEVICE.
REFER TO USERS GUIDE FOR ACCESS.

安全性

安全性は、コンピュータを操作する上で最も重要です。このセクションのガイドラインに基づいて、コンピュータをお使いください。

バッテリ

警告　コンピュータには、バッテリ駆動のリアルタイム クロック回路が装備されています。バッテリが正しく装着されていなかったり、バッテリの取り扱いを誤ったりすると、爆発したり怪我をしたりする恐れがあります。バッテリを充電、分解、水にぬらす、火に入れるなどしないでください。

重 要　リアルタイム クロック用バッテリの交換については、コンパック正規販売代理店、または正規保守サービス会社にご連絡ください。

警告　バッテリは一般家庭用ゴミと一緒に捨てずに、公共の収集システムを利用するか、コンパック、コンパック正規保守サービス会社、コンパック正規販売代理店に連絡してください。

電源コード

お求めのコンピュータにコンピュータ用の電源コードまたはAC電源アダプタが付属していない場合は、お使いの国の規格に準拠したものを購入してください。

電源コードは、お使いの製品用のものを使用してください。製品の電気定格ラベルに記された電圧／電流にあったものでなければなりません。また、製品に表示された電圧／電流より大きい電源コードを選んでください。さらに銅線の直径は、最低で$0.75mm^2$/18AWGで、コードの長さは1.5mから2mまででなければなりません。電源コードの種類については、コンパック正規保守サービス会社にお問い合わせください。

電源コードを配線する際は、通路を避け、コードの上にものを置いたり、コードをものではさんだりしないよう気をつけてください。プラグ、電源の引き込み口、製品からコードが出ている部分には特に注意してください。

レーザー アセンブリ

CDドライブを搭載したすべてのCompaqシステムは、IEC825等の安全基準に適合しています。さらに、米国の政府機関が規定したClass1レーザー製品に関するレーザー製品性能規格に準拠しています。人体に有害なレーザー光線を装置外部に放射することはありません。

 警告 コンパックのマニュアルに記載されていない方法で調整などを行うと、放射線を浴びる危険があります。

CDドライブは、Class1レーザー装置として分類されます。このラベルが、CDドライブの外側に添付されています。

CLASS 1 LASER PRODUCT

[レーザーの情報]

レーザーの種類	半導体GaAIAs
波長	650 - 780 +/- 35 nm
発散角度	53.5 度 +/- 5 度
出力電力	0.2 mW または 10.869 W/m^2sr 以下
偏光	環状
レンズ口径	0.45 +/- 0.04

警告　本製品の修理は専門的な技術を習得したコンパック公認の技術者が行います。このガイドで説明するトラブルシューティングおよび修理の手順は、サブアセンブリ/モジュール レベルの修理に限定されています。個々の基板やサブアセンブリは複雑なので、コンポーネント レベルの修理や回路基板の改造を行わないでください。修理方法を誤ると、人体に危険が及ぶ可能性があります。

コンピュータの使用法

警告　通常の環境で見られるある種の閃光やパターンを見て、癲癇の発作を起こす方がまれにいます。こうした方は、テレビの動画像を見たり、ゲーム (インターネット PC のゲームを含む) を使用すると、癇癪の発作を起こす可能性があります。こうした発作を起こしたことのない方でも原因のわからない癲癇の症状が現れる場合があります。ゲームを使用中に次のような症状が現れた場合は、医師に相談してください。視覚異常、筋肉の緊張、その他の付随意運動、意識喪失、錯乱状態、けいれん。

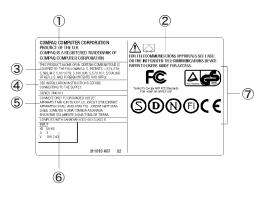
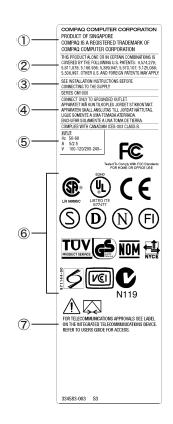
ドイツの人間工学に関する通達

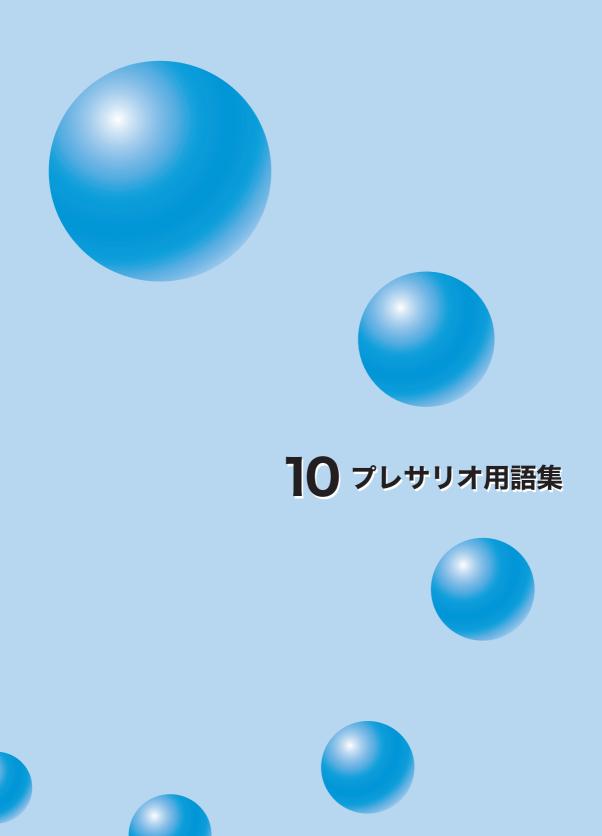
これらの製品は、オフィス環境で継続的に使用することを目的としています。

モバイル製品 - ドイツの人間工学に関する通達

Compaq Agency Series 2940、CM2000、CM2010、CM2030 ファミリーのポータブル コンピュータには、「GS」承認マークがついており、同じく「GS」マークのついているポート レプリケータ、キーボード、およびモニタと共に使用すると、ZH1/618(German Safety Regulations for Display Work Places in the Office Sector)の要件を満たします。
これらのポータブル コンピュータは、オフィス環境での継続的な使用の為のものではありません。

規定承諾ラベルの添付

ご使用のコンピュータに関する安全性と規定が記載されたその他のラベルは、コンピュータの内側と外側に添付されています。ご使用の Compaq パーソナル コンピュータに添付される一般的な規定承諾ラベルの図を以下に示します。

番号	説明
1	製造場所
2	モデム規定声明
3	特許情報
4	パワー サプライに関する注意
5	アースに関する情報
6	定格電圧
7	当局の承諾

番号	説明
1	製造場所
2	特許情報
3	パワー サプライに関する注意
4	アースに関する情報
5	定格電圧
6	当局の承諾
7	モデム規定声明

9

10 プレサリオ用語集

プレサリオ用語集

10BaseT ローカル エリア ネットワーク(LAN)上で、コンピュータ同士の接続に使われるケーブルです。

ANSI 「米国規格協会」を参照してください。

ASCII 「米国情報交換用標準コード」を参照してください。

BIOS 「基本入出力システム」を参照してください。

CD 「コンパクトディスク(CD)」、「デジタル バーサトル ディスク(DVD)」、「デジタル ビデオ ディスク」を参照してください。

CD-ROM 「コンパクト ディスク」を参照してください。

CPU 「演算処理装置」を参照してください。

DOS 「ディスク オペレーティング システム」を参照してください。

DVD 「デジタル バーサトル ディスク」を参照してください。

e-mail 「電子メール」を参照してください。

FTP 「ファイル転送プロトコル」を参照してください。

GB 「ギガバイト」を参照してください。

GUI 「グラフィカル ユーザー インタフェース」を参照してください。

HPA 「ハイパフォーマンス アドレッシング」を参照してください。

HTML 「ハイパーテキスト マークアップ言語」を参照してください。

HTTP 「ハイパーテキスト トランスポート プロトコル」を参照してください。

Hz 「ヘルツ」を参照してください。

IEEE 「米国電気電子技術者協会」を参照してください。

IEEE-1394 ポート
最高400Mbpsの速度でデータを送信する装置です。デジタル カメラ、ビデオ カメラ、記憶装置など、さまざまな装置がサポートされています。「IEEE-1394 高性能シリアル バス」を参照してください。

IEEE-1394 高性能シリアル バス
ひとつのポートに最高63個の装置を順次接続できるプラグ アンド プレイのデジタル インタフェースです。「デイジー チェーン」、「IEEE-1394 ポート」、「プラグ アンド プレイ」を参照してください。

ISO 「国際標準化機構」を参照してください。

ISP 「インターネット サービス プロバイダ」を参照してください。

ITU 「国際電気通信連合」を参照してください。

K56flex Lucent Technologies社とRockwell International社によって開発されたデータ通信プロトコルで、モデムを使って標準の電話回線上を最高56 kbpsの速度でデータ転送します。「モデム」、「V.90 規格」を参照してください。

KB 「キロバイト」を参照してください。

Kbps 「キロビット/秒」を参照してください。

LAN 「ローカル エリア ネットワーク」を参照してください。

LCD 「液晶ディスプレイ」を参照してください。

LED 「発光ダイオード」を参照してください。

MB 「メガバイト」を参照してください。

Mbps 「メガビット/秒」を参照してください。

MHz 「メガヘルツ」を参照してください。

Microsoft Windows
Microsoft社によって開発されたGUIベースのコンピュータ オペレーティング システムです。

Microsoft Windows NT
Microsoft社によって開発されたネットワーク オペレーティング システムです。

Microsoft Windows エクスプローラ
パソコンのディスクの内容を表示したり、アクセスしたりするためのプログラムです。

Microsoft インターネット エクスプローラ
Microsoft社によって開発されたWebブラウザです。World Wide Web(WWW)上の文書などを表示できます。

MIDI 「電子楽器デジタル インタフェース」を参照してください。

MIDI／ゲームポート コネクタ
マウスやタッチパッドより、さらにリアルにゲームを楽しむために、ゲームパッドやジョイスティックなどの装置を接続するコネクタです。

MMX 「マルチメディア拡張機能」を参照してください。

MP3 MPEG Audio Layer-3の略称で、音声データのデジタル圧縮技術のひとつです。CD品質(44.1kHz、16ビットステレオ)の音声データを劣化しないように圧縮する場合で約1／10と、非常に小さなサイズに圧縮できるのが特長です。

MPEG 「動画圧縮規格委員会(Motion Picture Expert Group)」を参照してください。

Netscape Navigator
Netscape Communications社によって開発されたWebブラウザです。World Wide Web(WWW)上の文書などを表示できます。

NIC 「ネットワーク インタフェース カード」を参照してください。

OS 「オペレーティング システム」を参照してください。

PCカード 機能性を拡張するためにノート型コンピュータの PC カード スロットに差し込むカード サイズの装置です。PCMCIAカードと呼ぶこともあります。「パーソナル コンピュータ メモリ カード国際協会」を参照してください。

PC パーソナル コンピュータ

PCI 「周辺装置相互接続」を参照してください。

PCMCIA 「パーソナル コンピュータ メモリ カード国際協会」を参照してください。

PPP 「二地点間プロトコル」を参照してください。

RAM 「メモリ」を参照してください。

RAS 「リモート アクセス サーバ」、「リモート アクセス サービス」を参照してください。

ROM 「メモリ」を参照してください。

SVGA 「スーパー ビデオ グラフィックス アレイ」を参照してください。

TCP/IP 「伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル」を参照してください。

UPS 「無停電電源装置」を参照してください。

URL 「ユニフォーム リソース ロケータ」を参照してください。

USB 「ユニバーサル シリアル バス」を参照してください。

USBポート
USB ケーブルを介して最大12Mbpsの速度でデータを送信する装置です。デジタルカメラ、プリンタ、ゲームパッド、ジョイスティック、TA(ターミナルアダプタ)、スキャナなど、さまざまな装置がサポートされています。「ユニバーサル シリアル バス」を参照してください。

V.90規格 56kモデムの２つの規格(K56flexとx2)を一本化した規格で、国際電気通信連合により保証されています。k56flex規格は、V.90とK56flexの機能の互換性を保証した上でV.90規格に取り入れられます。

WAN 「広帯域ネットワーク」を参照してください。

Web 「World Wide Web」を参照してください。

Webブラウザ
ハイパーテキスト文書(HTML)を表示することができるプログラムです。Webページを表示するのに使います。

Windows NT
「Microsoft Windows NT」を参照してください。

Windows タスクバー
Windowsの「スタート」ボタンや時刻の設定、よく使うプログラムを起動するアイコンなどがあるバーです。標準の設定では、Windowsの画面の下部にあります。

Windowsデスクトップ
Windowsの画面全体のことです。プログラムを起動するアイコン、プログラムやファイルへのショートカット、Windowsタスクバーなどがあります。「リンク」、「ショートカット」、「Windowsタスクバー」を参照してください。

World Wide Web
世界中に張りめぐらされたコンピュータのネットワークを指す言葉です。Webブラウザを使って、すばやく簡単に情報を取り出せます。

WWW 「World Wide Web」を参照してください。

Zip ディスク
100または250メガバイトの容量を持つ記憶装置で、Zipドライブで使用します。

Zipドライブ
Zipディスクへのデータの読み取り／書き込みを行う装置です。

アイコン Windowsなどのグラフィカル ユーザー インタフェース上で、ファイル、フォルダ、またはプログラムへのリンクやショートカットを表す小さな図形(絵文字)です。

アップロード
リモート コンピュータにファイルをコピーすることです。ダウンロードの対語です。

アナログ さまざまな周波数の連続的な電流です。デジタル データを標準の電話回線を使って送信する場合は、送信前にモデムによってアナログ信号に変換する必要があります。「デジタル」の対語です。

アプリケーション
ワードプロセッサ プログラムやグラフィックなど、具体的な作業を行うためのソフトウェアのことです。

アンチウイルス ユーティリティ
有害なプログラム コード(ウイルス)によって引き起こされた損傷を検出し、修復するプログラムです。「ウイルス」、「ユーティリティ」を参照してください。

イーサネット
ネットワーク上でのデータの転送方法を指定するデータ リンク プロトコル群です。

インターネット
世界最大の分散型コンピュータ ネットワークです。インターネットに接続するコンピュータまたはネットワークは、すべてTCP/IPを使用します。「ネットワーク」、「TCP/IP」を参照してください。

インターネット エクスプローラ
「Microsoft インターネット エクスプローラ」を参照してください。

インターネット キーボード
ボタンを押すだけで、即座にインターネットにアクセスしたり、よく使うアプリケーションを起動できるキーボードです。

インターネット サービス プロバイダ(ISP)
一般の電話回線や専用回線を使ったインターネットへの接続を提供する業者です。単に「プロバイダ」ということもあります。「ダイアルアップ ネットワーキング」、「専用回線」を参照してください。

インタフェース
「グラフィカル ユーザー インタフェース」を参照してください。

インタラクティブ
コンピュータ ゲームなど、コマンドに即座に反応するプログラムを表す用語です。

イントラネット
通常、企業、学校、あるいは大きな組織のメンバーに情報を提供することを目的に設立されたネットワークです。イントラネットは、World Wide Webのごく小さなプライベート版と考えられています。「エクストラネット」を参照してください。

ウィザード
プリンタのインストールなどの操作手順が、順に自動的に表示されるユーティリティ プログラムです。

ウイルス
データまたはプログラムを破損するおそれのある有害なコンピュータ プログラムです。「アンチウイルス ユーティリティ」を参照してください。

液晶ディスプレイ(LCD)
液晶を利用したディスプレイで、極性を与えた光と電気信号に反応して表示されます。ノート型コンピュータなどに使用されています。

エクストラネット
イントラネット同士を相互に接続した情報システムです。「イントラネット」を参照してください。

エクスプローラ
「Microsoft インターネット エクスプローラ」、「Microsoft Windows エクスプローラ」を参照してください。

10

演算処理装置(CPU)
コンピュータをコントロールする中心となる装置です。演算処理装置によって、算術および論理演算が行われます。「チップ」、「マイクロプロセッサ」を参照してください。

オペレーティング システム(OS)
コンピュータの動作を制御するシステム ソフトウェア プログラムです。画面表示やアプリケーションの実行などを管理します。

オンライン
ネットワーク、特にインターネットに接続している状態を指します。

オンライン ヘルプ
ハードディスクに保存されているヘルプで、プログラム メニュー バーの「ヘルプ」を選ぶと見ることができます。

カーソル
コンピュータ画面上で、次の入力文字の位置を示すための記号で、一般的に点滅して表示されます。

カードバスPCカード
32ビットのPCカードです。「PCカード」を参照してください。

仮想メモリ
「メモリ」を参照してください。

拡張スロット
モデムなど、機能を拡張するためにコンピュータに取り付けるシステム ボードを挿入する部分です。

キーボード
文字や数字データの入力に使用する基本装置です。

ギガバイト(GB)
データの量を表す単位です。1ギガバイトは約10億バイトです。「バイト」を参照してください。

基本入出力システム(BIOS)
コンピュータのROMに保存されている命令セットで、周辺機器との入出力をコントロールするソフトウェアです。

キャッシュ
よく使われる情報を一時保存しておき、アクセスを高速にするメモリの一種。「メモリ」を参照してください。

キロバイト(KB)
データ量を表す単位です。1キロバイトは約1,000バイトです。「バイト」を参照してください。

キロビット/秒(Kbps)
データ転送の速度を表す単位です。

クライアント
サーバーと呼ばれる中央コンピュータのデータやサービスにアクセスできるネットワーク上のコンピュータのことです。サーバー対語です。

グラフィカル ユーザー インタフェース(GUI)
アイコンやマウスでメニューを選択する機能のように、目で見て直感的に理解しやすい操作方法のことです。Windowsデスクトップは、グラフィカル ユーザー インタフェースの一種です。

クリエイティブ ウィンドウ
周辺機器が簡単に抜き差しできるように、プレサリオの正面にあるいくつかのコネクタのことです。

掲示板
コンピュータ化された会議システムおよびアナウンス システムで、モデムを使って電子掲示板システムの電話番号をダイヤルするか、インターネット サービス プロバイダ(ISP)を介して直接アクセスすることができます。

ゲームパッド

マウスやタッチパッドよりも、さらにリアルにゲームが楽しめる装置です。

ゲームポート

「MIDI/ゲームポート コネクタ」を参照してください。

広帯域ネットワーク

地理的に離れているコンピュータが、データなどを共有するために接続しているネットワークです。インターネットは、世界最大の広帯域ネットワークです。ローカル エリア ネットワーク対語です。

国際電気通信連合(ITU)

国際通信規格の規制、規格化、調整、および開発について責任を持つ国連の機関です。

国際標準化機構(ISO)

知的、科学的、技術的、および経済的な活動分野で、規格の開発を促進する目的で設立された非政府機関です。

コネクタ 特定のケーブル プラグの差し込み口で、パソコンの正面や背面などにあります。「パラレル ポート コネクタ」、「PS2 コネクタ」、「シリアル ポート コネクタ」、「ユニバーサル シリアル バス」を参照してください。

コンパクト ディスク(CD)

レーザー技術を使って最大650メガバイトのデジタル データを片面に格納できる円盤型のプラスチックです。CDの種類には、次のようなものがあります。

- CD-ROM(読み込み専用メモリ)
  読み込み専用の情報が収められています。
- CD-R(書き込み可能)
  書き込み可能または録音可能なCD-Rドライブを使って情報をディスクに1度だけ書き込むことができます。
- CD-RW(再書き込み可能)
  再書き込み可能または録音可能なCD-RWドライブを使ってディスクに情報を保存することができます。

サージ保護機能

急激な電圧の変化から電子機器を保護するための装置です。

サーバー データベース、ファイル、プリンタ サービスなどを提供するコンピュータで、クライアントに対してネットワーク リソースへのアクセスを許可します。

システム ボード

コンピュータ内部の主要な回路基板です。マザーボードともいいます。

周辺装置 コンピュータに接続しているモニタやプリンタなどの装置です。

周辺装置相互接続(PCI)

最高137Mbpsの速度でデータ転送が可能で、プラグ アンド プレイ機構が初めて搭載されたバスです。「バス」、「プラグ アンド プレイ」を参照してください。

ジョイスティック
マウスやタッチパッドよりも、さらにリアルにゲームが楽しめる装置です。

ショートカット
プログラム、フォルダ、またはファイルに直接アクセスできる、Windowsデスクトップ上のアイコンです。ショートカットのアイコンには、左下に小さな矢印がついています。

シリアル ポート
シリアル ケーブルを経由して、一度に1ビットのデータを転送する装置です。

スーパー ビデオ グラフィックス アレイ(SVGA)
通常、65,000色以上で1024×728ピクセルの解像度をサポートするビデオ カードです。「ピクセル」を参照してください。

スクリーン セーバー
指定した時間以上コンピュータを操作しない場合に、自動的に表示される静止画／動画イメージです。画面の焼きつきを防ぐために作られたものです。

スクロール
ウィンドウからはみ出して、表示されていない部分を見るために、横方向や縦方向に移動することです。

スリープ モード
指定した時間が経過すると、コンピュータやモニタが省電力状態になることです。

専用回線 インターネットへの常時アクセスを提供する専用の通信回線です。専用線ともいいます。

全二重 「二重」を参照してください。

ソフトウェア
コンピュータに動作を指示するプログラムです。ソフトウェアにはアプリケーション ソフトウェアとシステム ソフトウェアの2種類があります。「アプリケーション」、「オペレーティング システム」を参照してください。

ダイアログ ボックス
設定を選んだり、必要な情報を文字で入力したりするために表示されるウィンドウです。

ダイヤルアップ ネットワーキング
モデムと電話回線を介してネットワークにアクセスする方法です。通常、インターネット サービス プロバイダ(ISP)を経由してインターネットにアクセスすることを指します。専用回線対語です。

ダウンロード
リモート コンピュータからファイルをコピーすることです。アップロードの対語です。

タスクバー
「Windows タスクバー」を参照してください。

タッチパッド
ポータブル コンピュータなどでマウスのかわりに使用され、指で触れることによって反応する小さなパッドです。パッドを指または他の物でなぞると、画面上のカーソルを移動することができます。メニュー オプションを選択するには、パッドを指で軽くたたきます(この機能が利用可能な場合)。

ダブルクリック
マウスの左ボタンを素早く2回押すことです。

チップ 小型トランジスタと回路を含むシリコンの薄い半導体板です。「演算処理装置」、「マイクロプロセッサ」を参照してください。

チャンネル 通信経路。

デイジー チェーン
USB またはIEEE-1394などの装置間のケーブル接続方法の一種で、ある装置の出力コネクタから次の装置の入力コネクタへと順に接続する方法。「ユニバーサル シリアル バス」、「IEEE-1394高性能シリアル バス」を参照してください。

ディスク 「コンパクト ディスク」を参照してください。

ディスク オペレーティング システム(DOS)
Microsoft ディスク オペレーティング システム(MS-DOS)の一般名です。

ディスケット
円盤状のポリエステル フィルムに磁気粉を塗布したものをケースに収めた記憶媒体です。3.5インチ フロッピーディスクともいいます。「フロッピーディスク」を参照してください。

ディスケット ドライブ
ディスケットへのデータの読み込みと書き込みを行う装置です。

ディレクトリ
ファイル名とファイルの場所が格納されているディスク上の領域です。Windowsではフォルダともいいます。

データベース
必要な情報を簡単に取り出せるように、データを一定の規則に従って統合化したファイル。

デジタル ビット形式でデータを伝送する電気信号です。アナログの対語です。

デジタル バーサトル ディスク(DVD)
両面を使って、最大17ギガバイトのデジタル音声、ビデオ、またはデータを保存することができるディスクです。DVDの種類には、次のようなものがあります。

- DVD-ROM(読み込み専用メモリ)
  読み込み専用の情報が収められています。
- DVD-R(書き込み可能)
  書き込み可能なDVD-Rドライブを使って情報をディスクに1度だけ書き込むことができます。
- DVD-RAM(ランダム アクセス メモリ)
  再書き込み可能なDVD-RAMドライブを使って情報をディスクに保存することができます。
- DVD+RW(再書き込み可能)
  再書き込み可能なDVD-RWドライブを使って情報をディスクに保存することができます。

デジタル ビデオ ディスク
関連する音声やサブタイトルを8種類の言語で保存できるだけでなく、最大135分の画像(ビデオ)を保存可能なCDサイズのディスクです。「コンパクトディスク」、「デジタル バーサトル ディスク」の対語です。

デスクトップ
「Windows デスクトップ」を参照してください。

デスクトップ コンピュータ
持ち運びに便利なノート型コンピュータとは対照的に、卓上型として設計されたパーソナル コンピュータです。「ラップトップ コンピュータ」、「ノート型コンピュータ」の対語です。

デバイス ドライバ
「ドライバ」を参照してください。

デフォルト
特別に指示しない限り、プログラムによって使用される自動設定です。コンピュータやアプリケーションの購入時の設定のことです。

伝送制御プロトコル／インターネット プロトコル(TCP/IP)
ネットワークを介したデータの伝送方法を指定する業界標準のプロトコルです。TCP/IPを使うと、異機種間の通信が可能になります。つまり、Microsoft Windowsオペレーティング システムが稼動しているコンピュータから、別のオペレーティング システムが稼動しているコンピュータにアクセスすることができます。TCP/IPは、インターネットに接続するすべてのコンピュータおよびネットワークに使用されます。

電子楽器デジタル インタフェース(MIDI)
電子楽器の音を表現するのに使われるファイル形式です。MIDIファイルのファイル拡張子は「.mid」です。

電子メール
ネットワークまたはインターネットを介してメッセージやファイルを送受信する方法です。

動画圧縮規格委員会(Motion Picture Expert Group)
動画像／音声のデータ圧縮方式の規格を作成する国際標準化機構(ISO)傘下の検討委員会です。

ドライバ Microsoft Windowsオペレーティング システムおよびBIOSが、PCIカードやプリンタなどのようにコンピュータにインストールまたは接続されている装置を認識して操作するためのプログラムです。「プラグ アンド プレイ」を参照してください。

ドライブ 記憶装置に対してデータの読み込みと書き込みを行う駆動装置です。「CD ドライブ」、「ディスケット ドライブ」、「DVD ドライブ」、「ハードディスク ドライブ」、「Zip ドライブ」を参照してください。

ナビゲート
あるサイト／ディレクトリから別のサイト／ディレクトリに移動することです。

二重 通信において、送信と受信が同時にできることを意味します。全二重ともいいます。半二重の対語です。

二進数 コンピュータをコントロールするために、二進法で表される数字で、0または1で表されます。1つの二進数で表されるデータを1ビットといいます。「ビット」、「バイト」を参照してください。

二地点間プロトコル(PPP)
ダイアルアップ ネットワーキング、モデム、および一般の電話回線を使ってネットワークにアクセスするためのプロトコル。PPPは多くのインターネット プロバイダによって使用されています。

ニュースグループ
掲示板に似たネットワーク上の目的別フォーラムです。購読者はメッセージを読み、ニュースグループ サイトにメッセージを投稿することができます。

ネットワーク
2台以上のコンピュータを接続して、ファイル、プログラム、プリンタなどのリソースを共有することです。「ローカル エリア ネットワーク」、「広帯域ネットワーク」を参照してください。

ネットワーク アダプタ
「ネットワーク インタフェース カード」を参照してください。

ネットワーク インタフェース カード
コンピュータをネットワークに物理的に接続してデータ通信を行うのに必要な装置です。

ノート型コンピュータ
ノート サイズのポータブル コンピュータです。デスクトップ コンピュータ、ラップトップ コンピュータの対語です。

パーソナル コンピュータ メモリ カード国際協会
ノート型コンピュータまたはラップトップ コンピュータに差し込むカード サイズのメモリの標準化を促進するために設立された業界団体です。

パーティション
ハードディスクを独立したいくつかの領域に区切ることです。

ハードウェア
コンピュータ、モニタ、キーボードなど、コンピュータの物理的構成要素です。

ハードディスク
酸化鉄でコーティングされたアルミ合金製の円盤形内部記憶装置です。一般にハードディスク ドライブと一体構造になっています。

ハードディスク ドライブ
ハードディスクにデータの読み込みや書き込みを行うための駆動装置です。

バイト データの量を表す単位で、1バイトは8ビットです。1つの英数文字のサイズは1バイトです。「ビット」を参照してください。

バイナリ 0と1のみを使用する表記法です。デジタル データに使用されます。

ハイパーテキスト
ハイパーリンクを含む特別な形式のテキストです。「ハイパーリンク」、「リンク」を参照してください。

ハイパーテキスト トランスポートプロトコル(HTTP)
HTMLで記述されたドキュメントを送受信するための通信プロトコルです。「ハイパーテキスト マークアップ言語」を参照してください。

ハイパーテキスト マークアップ言語(HTML)
Web ページを表示するために使用される標準言語です。

ハイパーリンク
クリックすると、ファイル、ファイル内の特定の位置、またはWebページに即座にアクセスできるテキストで、色と下線が付いています。「ハイパーテキスト」、「リンク」を参照してください。

10

ハイバネーション モード
ノート型コンピュータの機能です。省電力状態になることです。ハイバネーション モードになると、メモリの内容がハードディスクなどの記憶装置に自動的に書き込まれます。

ハイパフォーマンス アドレッシング(HPA)
特に、ビデオや3Dゲームをするときに高品質のリアリズムを提供する液晶ディスプレイ技術です。

バグ コンピュータ プログラム コードのエラーです。

バス コンピュータのコンポーネントを結ぶ重要な信号線です。

バックアップ
保管用のファイルのコピーです。何らかの理由で使用中のファイルが壊れてしまった場合に、代わりに使用するために用意します。

発光ダイオード(LED)
電流が流れると発行する半導体デバイスです。コンピュータの状態表示ランプの多くはLEDを使用しています。

ハブ コンピュータをネットワークへ接続する場合に使用される切替装置です。

パラレル ポート
並列ケーブル内の8つのワイヤを通してデータのビットを同時に転送する装置です。プリンタなどの接続に使います。

バルーン ヘルプ
アイコン、ボタン、またはツールバー項目にマウス ポインタを合わせた場合に表示される、ボタン名やボタン機能の説明といった情報を指します。

半二重 一度に一方向のみの通信が可能なデータ通信方式。(全)二重の対語です。

ピクセル グラフィック イメージを構成する個々のドット(点)のことです。

ビット 二進数で表現されるコンピュータ情報の最小単位です。8ビットで1バイトとなります。「バイト」、「二進数」を参照してください。

ビデオCD「デジタル ビデオ ディスク」を参照してください。

ファイル転送プロトコル(FTP)
ファイルをダウンロードまたはアップロードする方法を指定するプロトコルです。「ダウンロード」、「アップロード」を参照してください。

ブート コンピュータを起動することを指します。起動時には、コンピュータを使用するのに必要な情報がメモリにロードされます。

ブラウザ 情報にアクセスしたり、見たりするプログラムです。「Web ブラウザ」を参照してください。

プラグ アンド プレイ
コンピュータに接続すると、オペレーティング システムおよびBIOSによって自動的に機器の認識および設定を行う機能です。

プログラム
ワードプロセッサ プログラムなど、実質的な作業の効率を高めるソフトウェアです。

プロセッサ
「マイクロプロセッサ」を参照してください。

プロダクト キー
Microsoft Windows オペレーティング システムの製品識別コードで、プレサリオの本体に貼り付けられています。

フロッピーディスク
ディスケットのことです。3.5インチ フロッピーディスクともいいます。「ディスケット」を参照してください。

プロトコル
複数のデバイスやコンピュータが互いに通信するための規約です。

米国規格協会（ANSI）
公営および民間のセクター グループ間の合意を調整し、米国内の技術標準化の開発を支援する民間の非営利団体です。

米国情報交換用標準コード（ASCII）
キーボード文字を、コンピュータが処理できる二進数に変換するために使用されるコードです。「米国規格協会」を参照してください。

米国電気電子技術者協会（IEEE）
コンピュータ エンジニアリングと汎用エレクトロニクスの分野で、技術と規格の開発に携わっている非営利団体です。

ヘルツ（Hz）
周波数（1秒間に振動する回数）の単位です。1ヘルツは1サイクル／秒と同じです。「メガヘルツ」、「マイクロプロセッサ」、「リフレッシュ レート」を参照してください。

ポート
コンピュータ間、あるいはコンピュータと周辺機器の間でデータをやりとりするコネクタです。「パラレル ポート」、「シリアル ポート」を参照してください。

ホットプラグ
コンピュータを再起動せずに、PCカードやUSBデバイスなどの装置を接続したり、取り外したりすることです。

ポップアップ メニュー
メニュー バーの項目を選択すると表示される選択リストです。

マイクロプロセッサ
中央演算処理装置全体を含むシステム ボード上の集積回路です。コンピュータの頭脳にあたります。マイクロプロセッサの速度の単位はメガヘルツです。「ヘルツ」、「メガヘルツ」を参照してください。

マウス
上部のボタンをクリックする（押す）ことによってメニューを選択したり、画面上のカーソルを移動させたりする装置です。「ダブルクリック」、「左クリック」、「右クリック」を参照してください。

マザーボード
「システム ボード」を参照してください。

マルチメディア
音声、動画、グラフィックス、テキスト、ビデオなどを統合的に扱うことを指します。

マルチメディア機能拡張（MMX）
プログラムをより高速かつ効率的に実行するために Intel社によって開発されたマイクロプロセッサ テクノロジーです。

右クリック
マウスの右ボタンを押すことです。

無停電電源装置（UPS）
突然の停電やバッテリ不足からコンピュータを守るためのサージ保護機能を提供する装置です。

メーリング リスト
あるひとつのアドレスに電子メールを送信すれば、そのアドレスに登録されているメンバ全員に送信されるメール送信サービスです。同じ趣味を持った人たちの間の連絡や、企業の広告などに使われます。

メールリスト
「メーリング リスト」を参照してください。

メガバイト(MB)
データの量を表す単位です。1メガバイトは約100万バイトです。「バイト」を参照してください。

メガビット/秒(Mbps)
データ転送の速度を表す単位です。

メガヘルツ(MHz)
マイクロプロセッサの速度を表す単位です。1メガヘルツは100万ヘルツまたは100万サイクル/秒です。「ヘルツ」を参照してください。

メモリ
プロセッサによって使用されるデータや指示が保存される場所です。メモリには次のような種類があります。

- ランダム アクセス メモリ(RAM)
  動作中のプログラムやデータを保持するメモリです。
- 読み取り専用メモリ(ROM)
  コンピュータの起動に必要なデータ(つまり、書き換えては困るデータ)が保存される記憶装置です。このデータにアクセスは可能ですが、変更は行えません。
- 仮想メモリ
  ハードディスクのファイルスペースを一時的にランダムアクセス メモリとして使うものです。

モデム(変復調装置)
標準の電話回線で送信できるように、送信元のコンピュータでデータをデジタルからアナログに変換する装置です。受信側のモデムでは、コンピュータが受信したデータを読み込めるようにアナログからデジタルに変換されます。「アナログ」、「デジタル」を参照してください。

ユーティリティ
パワー マネージメント プログラムやアンチウイルス プログラムなど、コンピュータのオペレーションを補助するプログラムです。

ユニバーサル シリアル バス(USB)
ひとつのポートに127個までの装置を順次接続できるプラグ アンド プレイ インタフェースです。「デイジー チェーン」、「USBポート」を参照してください。

ユニバーサル リソース ロケータ(URL)
ユニフォーム リソース ロケータ(URL)を参照してください。

ユニフォーム リソース ロケータ(URL)
Webサイトがある場所を指定するインターネット アドレスです。ユニバーサル リソース ロケータともいいます。

読み取り専用メモリ(ROM)
「メモリ」を参照してください。

ラップトップ コンピュータ
デスクトップ コンピュータやノート型コンピュータの対語です。

ランダム アクセス メモリ(RAM)
「メモリ」を参照してください。

リアルタイム クロック(RTC)
コンピュータの電源をオフにしていても、コンピュータ内部のバッテリで駆動するクロックのことです。Windows上での日付や時刻の表示などに使われます。

リフレッシュ レート
画面が再描画される回数で、単位はヘルツです。75ヘルツのリフレッシュ レートとは、画面が1秒あたり75回更新されることを意味します。

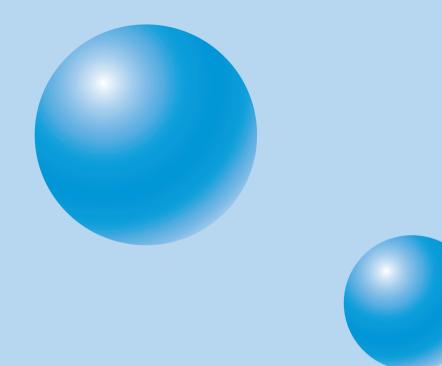
リモート アクセス サーバ(RAS)
特別に設定されたダイアルアップ ネットワーキングを介してネットワークへのアクセスを許可するサーバー コンピュータです。「リモート アクセス サービス」を参照してください。

リモート アクセス サービス(RAS)
特別に設定されたサーバー コンピュータを介してダイアルアップでネットワークにアクセスすることを許可する機能です。「リモート アクセス サーバー」を参照してください。

リンク クリックすると、ファイル、プログラム、ディレクトリ、またはWebサイトに直接アクセスできる項目です。画面上で、リンクの部分にマウスポインタを合わせると、マウスポインタが指の形に変わります。「ハイパーリンク」、「ショートカット」を参照してください。

ローカル エリア ネットワーク(LAN)
ファイル、プログラム、プリンタなどのリソースを共有する目的で、2台以上のコンピュータを接続しているネットワークです。一般的に、同じビル内や構内など、限られた距離の範囲で使用されます。広帯域ネットワークの対語です。

ログオン ユーザー名とパスワードを入力することによって、ネットワークまたはインターネット サービスプロバイダ(ISP)にアクセスできるようにすることです。

10

付録 修理とお問い合わせ先

修理とお問い合わせ先

お問い合わせになる前に

プレサリオサポートセンターでは、サポートスタッフがお客様のパソコンの機種名、シリアルナンバー等をお伺いします。プレサリオサポートセンターへお電話いただく際は、迅速に対応させていただくためにも以下の情報を事前にご準備ください。

また、プレサリオのサポート情報をホームページに掲載しています。「プレサリオ　サービス＆サポート広場」の「よくある質問:FAQ」をご覧ください。

http://www.compaq.co.jp/athome/presario/service/service.html

このほか、製品に同梱されている「おまかせサービス＆サポート」もご覧ください。

重 要 パソコンの操作がお試しいただける状態でお電話いただいた場合は、サポートスタッフがお電話でご案内した操作、確認事項をその場でお試しいただけます。

機種名	Presario
購入日／販売店	
シリアルナンバー(S/N)	
モニタ名	メーカー名　　　　　　　　製品名
モニタシリアルナンバー(S/N)	
プリンタ	メーカー名　　　　　　　　製品名
その他の周辺機器	□スキャナ　□デジタルカメラ　□TA(ターミナルアダプタ) □MOドライブ　□PCカード　□その他(　　　　　　)
ソフトウェア	□標準添付されているソフトウェア(購入時のまま変更していない) □ホームページ等からダウンロードしたもの(ソフト名:　　　　) □別途購入したソフトウェア(ソフト名:　　　　)

＊ シリアルナンバー(S/N)は保証書または本体の背面／底面に添付されているシールをご覧ください。

- ●パソコンのお近くからお電話いただいている場合、Windowsは起動していますか？
- ●エラーメッセージが画面上に表示されている場合、そのまま、エラーメッセージを表示させたままでお電話いただくか、エラーメッセージの内容をメモしてください。
- ●どんな操作をしているとトラブルが発生しますか？または、発生しましたか？
- ●操作していたソフトウェアは何ですか？
  例:Internet　Explorer、Outlook Express、Microsoft Word、Microsoft Excel、ゲーム等(ゲーム名)
- ●トラブルが発生してから、解決のためにお客様がお試しになった操作等はありますか？
  例:パソコンの電源を一度切り、再度起動後、再度操作をやりなおしてみた。コンパック純正品以外の周辺機器(メモリ等)を全部取り外した。

プレサリオサポートセンター

全国どこからおかけいただいても無料のフリーダイヤル。わかりやすい説明で、プレサリオに関する疑問やトラブルにお答えします。

0120-099-589

受付時間
平日　9:00～20:00
土曜、日曜、祝祭日　10：00～18：00
（年末年始およびコンパックの指定休日を除く）

重要 製品の初期不良合*、内容物欠品と思われる場合は、プレサリオサポートセンターにご連絡ください。その際、パソコンの機種名、シリアルナンバー（S/N）をお申し付けください。

* 「初期不具合」とは、お客様が販売店からのご購入日（＝保証書の日付）より7日以内にコンパックコンピュータにご報告いただいた製品不具合を指します。

プロバイダのお問い合わせ先

●@nifty

・電話でのお問い合わせ先

@niftyサービスセンター

［@nifty入会案内］

フリーダイヤル　0120-816-042

携帯・PHS・海外のお客様専用　03-5753-2374

［@nityサービス内容案内］

フリーダイヤル　0120-818-275

携帯・PHS・海外のお客様専用　03-5753-2373

受付時間　毎日　9:00〜21:00

※お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめください。

※ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。

・オンラインでのお問い合わせ先

［@nifty会員専用サポート窓口］

http://www.nifty.com/support/madoguchi/

[Eメールでのお問い合わせ］

feedback@nifty.com

●InfoSphere

株式会社NTTPCコミュニケーションズ

InfoSphereテクニカルサポートセンター

03-5289-1180

受付時間　平日　10:00〜19:00

土日祝祭日　11:00〜17:00

電子メールによるお問い合わせ

support@sphere.ad.jp

http://customer.sphere.ne.jp/news/form/index.html

（お問い合わせフォームからのメール送信）

受付時間　24時間

ホームページ上でのサポート

http://customer.sphere.ne.jp/index.html

●DION

KDDIカスタマサービスセンター
サービス内容に関するお問い合わせ
0077-7192（無料）
E-mail：support@dion.ne.jp

接続／設定などに関するお問い合わせ
0077-20227（有料　全国一律1分10円）
E-mail：tech_support@dion.ne.jp

上記番号につながらないときは
東京　03-5348-3975（有料）
札幌　011-232-7012（有料）

受付時間　9：00～21：00（年中無休）
DIONホームページ　http://www.dion.ne.jp/

●AT&T WorldNet[SM] Service

JENS株式会社
カスタマーサポートセンター
E-mail：info@att.ne.jp
03-3500-2500
受付時間　平日　9：00～20：00

●So-net

ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社
So-netインフォメーションデスク
受付時間　10:00～21:00（年中無休）
【全国共通インフォダイアル　0570-00-1414】
日本全国どこからでも市内通話料金（3分／10円）でご利用になれます。
かかりにくい場合、携帯・PHSからは下記の電話番号まで。
【札幌　011-711-3765】【仙台　022-256-2221】
【東京　03-3446-7555】【名古屋　052-819-1300】
【大阪　06-6577-4000】【広島　082-286-1286】
【福岡　092-624-3910】
FAX　03-3446-7557
E-Mail　Info@so-net.ne.jp

●AOL

AOLジャパン株式会社
AOLメンバーサポートセンター
03-5331-7400
受付時間　9：00～21：00（年中無休）

●ODN

ODNサポートセンター

ODNサービス案内　フリーコール　0088-86（無料）
受付時間　平日　9:00～21:00
　　　　　土日祝祭日　9:00～18:00
ODN接続サポート　フリーコール　0088-85（無料）
受付時間　平日　9:00～21:00
　　　　　土日祝祭日　9:00～18:00
FAXによるお問い合わせ　フリーコール　0088-22-8850（無料）
24時間自動受付

E-mail（ODNサービス案内）　odn-support@odn.ad.jp
ODNホームページ　http://www.odn.ne.jp/
日本テレコムホームページ　http://www.japan-telecom.co.jp/service/

●WAKWAK

WAKWAKヘルプデスク

TEL　フリーダイヤル　0120-30-9092（さあWAKWAKに）
FAX　03-5675-7022

受付時間　お問い合わせ、お申込み　平日　9:00～19:00
　　　　　技術サポート　平日　9:00～21:00
　　　　　　　　　　　　土日祝祭日　10:00～17:30

e-mail

お申込み・問合せ等　info@wakwak.com
技術サポート　support@wakwak.com
ホームページ上のURL　http://www.wakwak.com/info/index.html

●BIGLOBE

BIGLOBEカスタマーサポート

サービス内容や事務手続きに関するお問い合わせ
BIGLOBEインフォメーションデスク
　0120-86-0962　フリーダイヤル
　03-3947-0962　携帯電話・PHSの場合
　受付時間　24時間365日
操作方法や環境設定に関するお問い合わせ
BIGLOBEサポートデスク
　0570-00-0962 ナビダイヤル*1
　03-3941-0962 携帯電話・PHSの場合
　受付時間　9:00～22:00
　*1全国一律10円／3分（市内通話料金）でご利用いただけます。
その他BIGLOBEに関するお問い合わせ
　info@bcs.biglobe.ne.jp

ヘルプ&サポート「転ばぬ先の杖」

BIGLOBEを利用していて困ったことがあれば、まずオンラインサポートである「ヘルプ&サポート〜転ばぬ先の杖」を見てみましょう。[BIGLOBEホームページ]－[ヘルプ&サポート]の順にリンクをクリックします。

http://www.biglobe.ne.jp/korobanu/

BIGLOBEインフォメーションダイヤル(24時間)

BIGLOBE インフォメーションダイヤルでは、音声によるアクセスポイントのご案内と、FAXによる情報提供サービスを行っております。音声によるアクセスポイントのご案内では、お近くのインターネットのアクセスポイントをご案内させていただいております。

FAX情報サービスでは、BIGLOBEのサービス内容やセットアップ方法などをご案内しております。

なお、プッシュ音の出る電話機/FAXからのみご利用可能です。

札幌　011-233-6120　　東京　03-5972-5488

名古屋　052-454-2455　　大阪　06-6306-9899

福岡　092-483-6773